

平成28～32年度 鳥取市生涯学習推進基本方針関連事業計画及び実績

《目次》

概要

鳥取市組織図

平成30年度 計画及び実績

平成31年度(令和元年度) 計画

平成28年度～令和2(平成32)年度 鳥取市生涯学習推進基本方針関連事業  
令和元(平成31)年度計画及び平成30年度実績 概要

本調査は、鳥取市生涯学習推進基本方針に基づき、庁内各部署で行われている生涯学習関連事業を整理し、その進捗を管理するために行っているものです。調査内容は次のとおりです。

- 事業名
- 事業の目的
- 事業計画(年度ごと)
- 事業実績(年度ごと)
- 事業達成度自己評価(年度ごと)

事業達成度は、事業の進捗状況を分かりやすくするために、次の指標をもとにしてAA～Eの記号を事業担当課が評価しつけたものです。

記号	指標	達成率
AA	計画をはるかに上回る実績が得られた。	達成率 120%～
A	計画を十分に達成した。	達成率 90～120%
B	計画をおおむね達成した。	達成率 70～90%
C	計画をあまり達成できなかった。	達成率 50～70%
D	計画をほとんど達成できなかった。	達成率 30～50%
E	ほぼ計画を実施できなかった。事業中止等。	達成率 0～30%
-	事業廃止、隔年開催等で評価できず。	

調査では、各事業を基本施策における7分野に分類・集計しています。分野別の集計は右記のとおりです。各年度約175の事業が実施されています。

【集計資料2】

1 市民が生涯にわたって学べる学習機会の充実

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	55	0	33	16	1	2	1	0	53
		0%	62%	30%	2%	4%	2%	0%	100%
H29	55	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
		#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
H30		1	35	6	1	1	1	8	53
		2%	66%	11%	2%	2%	2%	15%	100%

2 社会的課題に関する学習機会の充実

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	29	0	18	8	1	0	0	0	27
		0%	67%	30%	4%	0%	0%	0%	100%
H29	30	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
		#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
H30		7	8	11	0	0	0	2	28
		25%	29%	39%	0%	0%	0%	7%	100%

3 すべての市民が学べる多様な学習形態や情報提供の充実

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	4	0	4	0	0	0	0	0	4
		0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
H29	4	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
		#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
H30	4	0	4	0	0	0	0	0	4
		0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

4 学習した成果を活かす仕組みづくりと人材育成

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	21	0	12	8	0	1	0	0	21
		0%	57%	38%	0%	5%	0%	0%	100%
H29	21	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
		#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
H30	21	1	8	9	3	0	0	0	21
		5%	38%	43%	14%	0%	0%	0%	100%

5 地域社会の課題解決力・教育力向上と家庭教育の強化

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	20	1	15	2	1	1	0	0	20
		5%	75%	10%	5%	5%	0%	0%	100%
H29	20	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
		#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
H30		2	12	3	1	0	0	2	20
		10%	60%	15%	5%	0%	0%	10%	100%

6 伝統文化・芸能・芸術の学びを通じた継承及び活用と振興

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	25	1	9	14	1	0	0	0	25
		4%	36%	56%	4%	0%	0%	0%	100%
H29	26	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
		#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
H30		3	9	10	2	1	2	0	27
		11%	33%	37%	7%	4%	7%	0%	100%

7 生涯学習活動拠点の充実

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	23	0	15	7	1	0	0	0	23
		0%	65%	30%	4%	0%	0%	0%	100%
H29	23	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
		#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
H30	23	3	8	11	0	0	0	1	23
		13%	35%	48%	0%	0%	0%	4%	100%

【総計】

	事業数	AA	A	B	C	D	E	-	計
H28	173	2	106	55	5	4	1	0	173
		1%	61%	32%	3%	2%	1%	0%	100%
H29	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
		#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
H30		17	84	50	7	2	3	13	176
		10%	48%	28%	4%	1%	2%	7%	100%

担当部署別事業数 重複修正

部	課・室	事業数
総務部	総務課	#VALUE!
危機管理局	危機管理課	#VALUE!
人権政策局	人権推進課	#VALUE!
	男女共同参画課	#VALUE!
企画推進部	秘書課広報室	#VALUE!
	文化交流課	#VALUE!
	国際交流プラザ	#VALUE!
地域振興局	地域振興課	#VALUE!
	協働推進課	#VALUE!
	市民総合相談課	#VALUE!
福祉部	地域福祉課	2
	長寿社会課	9
	障がい福祉課	#VALUE!
健康子ども部	子ども家庭課	#VALUE!
	中央保健センター	#VALUE!
経済観光部	経済・雇用戦略課	2
	観光戦略課	#VALUE!
	鳥取砂丘・ジオパーク推進課	#VALUE!
農林水産部	農業振興課	#VALUE!
環境局	生活環境課	#VALUE!
教育委員会	学校教育課	#VALUE!
	生涯学習・スポーツ課	#VALUE!
	さびアストロパーク	#VALUE!
	文化財課	#VALUE!
	市立中央図書館	#VALUE!
国府	国府町地域振興課	#VALUE!
福部	教育委員会福部町分室	#VALUE!
河原	河原町地域振興課	#VALUE!
	教育委員会河原町分室	#VALUE!
用瀬	教育委員会用瀬町分室	#VALUE!
	用瀬町産業建設課	#VALUE!
佐治	教育委員会佐治町分室	#VALUE!
気高	気高町地域振興課	3
	教育委員会気高町分室	#VALUE!
鹿野	鹿野町地域振興課	#VALUE!
	教育委員会鹿野町分室	#VALUE!
青谷	青谷町地域振興課	#VALUE!
	教育委員会青谷町分室	#VALUE!
水道局	水道局	#VALUE!
	合計	#VALUE!

別添 平成28～32年度「鳥取市第2次生涯学習推進基本方針」関連事業一覧表

資料2

1 市民が生涯にわたって学べる学習機会の充実

(1) 人格形成の基礎を培う幼児教育の実践

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
教育委員会鹿野町分室	基幹公民館事業（図書イベント）	幼児・児童の豊かな情操を育てるため、本の読み聞かせ・おはなし会を実施。	幼児・児童の豊かな情操を育てるとともに、子どもの読書活動推進のための、年間を通して図書事業を実施する。 ・絵本の読み聞かせ＝10回程度開催 ・おはなし会＝12回程度開催	図書イベント 21回開催 ・絵本の読み聞かせ（こじか園）10回 ・おはなし会（鹿野学園流沙川学舎）11回 延1,082人参加	A	図書事業の開催回数は計画を下回ったものの、参加人数は昨年を大きく上回り、図書事業の目的である子どもの読書の機会を提供することができた。	図書室の利用促進につながる事業を新たに展開する。	幼児・児童の豊かな情操を育てるとともに、子どもの読書活動推進のための、年間を通して図書事業を実施する。 ・絵本の読み聞かせ＝10回程度開催 ・おはなし会＝12回程度開催 ・ちいさなおはなし会＝毎週火曜日開催予定
教育委員会鹿野町分室	地区公民館事業（ジュニア川柳事業）	川柳を通じて青少年の豊かな心を醸成するとともに地域づくりを推進するため。	小・中学生を対象としたジュニア川柳コンクールを開催し、青少年の豊かな心を醸成するとともに地域の文化芸術活動の活性化を図る。	第16回鹿野町ジュニア川柳大賞を実施。全国から1,420人、6,297句の応募があり、その中から大賞をはじめ4作品を表彰した。大賞句は句木にして「鹿野町川柳街道」に設置した。	A	小・中学生を対象としたジュニア川柳大賞を実施し、全国から昨年を上回る応募があり、当初の計画を達成することができた。	広報の強化による参加校、応募数の拡大を目指す。	小・中学生を対象としたジュニア川柳コンクールを開催し、青少年の豊かな心を醸成するとともに地域の文化芸術活動の活性化を図る。
教育委員会青谷町分室	お話し会・本の読み聞かせ	図書館利用の促進	保育園児を対象にお話し会や本の読み聞かせ3回	保育園児を対象にお話し会や本の読み聞かせ。開催日：平成30年10月12日（金）23日（火）25日（木）。延べ89名参加。	A	計画通り実施した	特になし	保育園児を対象にお話し会や本の読み聞かせ3回

(2) 青少年及び成人の社会的知識向上を図る学習、高齢者の生きがいづくりを旨とした学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
市立中央図書館	地域社会教育活動総合事業	子どもから大人まで市民の読書活動の推進を図ることを目的に、絵本の読み聞かせや各種講演会、研修会等を行う。また、読書を通じた市民の自己実現の機会を支援するため、絵本の読み聞かせ研修講座等、ボランティアの養成講座を実施するとともに、大学機関等と連携した一般向けの教養講座を開催し、生涯学習に資するとともに図書館の利用促進を図る。	子どもの読書活動推進のための読書ボランティア養成講座や、親子を対象としたイベントを行う。講座開催時の託児強化を図る。 また、高齢者を中心とした図書館利用も増えているため、引き続き、音読教室など高齢者を対象とした講座に取り組む。図書館利用をとおして、心豊かな生活の実現や地域文化の発展、課題解決などを図る。 おはなし会、読書ボランティア養成講座、親子でいっしょに楽しむ講座、文字活字文化の日記念講演会、ブックスタート支援事業、音読教室、広報誌の発行など 指標：図書館のおはなし会、各種講座への参加者数 5,057人	図書館3館において、子どもの読書活動推進に係るおはなし会やイベント、ブックスタート支援事業、音読教室、文字・活字文化の講演会などを開催した。 中央図書館では、絵本の読み聞かせボランティア養成講座を実施し、41人が受講した。そのうち61.1%の人が実務につなげている。 中央図書館では27年度から行っているBOOK袋（本の福袋）と一日図書館員のイベントを、用瀬図書館・気高図書館でも行い、読書活動の推進及び図書館利用の促進を図った。 指標：図書館のおはなし会、各種講座への参加者数 5,240人 達成率 103.6%	A	予定していた事業は計画通りに実施することができたとともに、目標を達成できた。	子どもの読書活動を一層推進するためには、本が身近にある環境をつくることにも、読書を手助けする人が重要。読み聞かせボランティア養成は受講しやすく、実践につながるような工夫をする。 また、高齢者の図書館利用は、さまざまな活動に主体的に取り組むことや健康長寿にもつながるとい調査結果もあることから、高齢者が一層利用しやすいサービスを展開していく。	子どもの読書活動推進のための読書ボランティア養成講座や、親子を対象としたイベントを行う。 また、高齢者を中心とした図書館利用も増えているため、引き続き、音読教室など高齢者を対象とした講座に取り組む。図書館利用をとおして、心豊かな生活の実現や地域文化の発展、課題解決などを図る。 おはなし会、読書ボランティア養成講座、親子でいっしょに楽しむ講座、文字活字文化の日記念講演会、ブックスタート支援事業、音読教室、シニア向けタブレット講座、広報誌の発行など 指標：図書館のおはなし会、各種講座への参加者数 5,057人
市立中央図書館	図書購入事業	市民の多様化する資料や情報に対する	全館で年間 19,000冊（購入予定）を整備する計画。年度末では約69千冊の蔵書となる予定。 指標：新規購入図書年間貸出回数 9.8冊	図書の購入：19,414冊 蔵書冊数：678,248冊 図書館情報管理システムと搬送システムの運用で、市立図書館のサービス拠点で読みたい本が借りられる仕組みを構築している。 指標：新規購入図書年間貸出回数 9.9冊 達成率100.7%	A	利用者のニーズや社会情勢をとらえながら選書を行い、必要な資料の整備を行った。	1.社会情勢をとらえながら、多様な考え方や新しい情報の資料を整備する。 2.県立図書館や他の自治体の図書と連携を行い、サービスを充実するとともに、資料のデジタル化や電子書籍の研究、検討を行う。	全館で年間 19,000冊（購入予定）を整備する計画。年度末では約69千冊の蔵書となる予定。 指標：新規購入図書年間貸出回数 9.9冊
教育委員会鹿野町分室	基幹公民館事業（歴史講座）	一般を対象として、地域の身近な歴史などを知るため実施する。	実施予定なし	実施なし	-			
教育委員会福部町分室	基幹公民館事業費（チャレンジスクール事業）	青少年の健全育成	福部地域こども教室（チャレンジスクール）に統合する		-			
教育委員会福部町分室	福部地域こども教室（チャレンジスクール）	学校週5日制が実施され、子どもたちの週末活動の支援事業として、農業体験や野外活動、創作活動、ボランティア活動などを実施する。	開催場所：福部町コミュニティセンター他 講座内容：クリーン大作戦2回、ABC教室	開催場所：福部町コミュニティセンター他 講座内容：ナイトワーク、クリーン大作戦、ふれあい交流事業、ABC教室、お菓子作り	A	計画していた講座を予定通り実施出来たため	引き続き、子どもたちの週末活動の支援事業として講座を開催する	開催場所：福部町コミュニティセンター他 講座内容：クリーン大作戦、ABC教室
生涯学習・スポーツ課	市ジュニアリーダー養成講座（ジュニアリーダー養成講座及びヤングリーダー育成事業）	青少年を健全でたくましく育てる連帯した地域・基盤を確立し、青少年が自ら積極的に学習や活動に参加し、地域活動・ふれあい活動への参加・参画を促進し、健全育成を図る。	委託先：鳥取市子ども会連合会 市内の小・中学生を対象として、子ども会活動・地域行事に参画できるジュニアリーダーを養成し、ジュニアリーダー養成講座終了者が引き続き活動・研修を行いヤングリーダーへの成長を図る。 ○定例会や体験活動、研修会への参加を通じて大人と連携した地域行事等への参画・運営に関わる力やリーダーとしての資質の向上を図る。	定例会（行事等の内容検討等）14回 しゃんしゃん祭りへの参加、シーカヤック体験、子どもフェスティバルにおけるニューススポーツ体験コーナー運営等の実施 小中高生の参加者数延36人であった。	B	計画していた事業は概ね実施できた。 定例会やイベントの実施により自ら行動する力を養うことができた。 その一方で、昨年より参加者数が減少していることより引き続き参加者の増への企画運営が必要。	委託先と協力し参加者の増に向け、改善策を検討する。	委託先：鳥取市子ども会連合会 市内の小・中学生を対象として、子ども会活動・地域行事に参画できるジュニアリーダーを養成し、ジュニアリーダー養成講座終了者が引き続き活動・研修を行いヤングリーダーへの成長を図る。 ○定例会や体験活動、研修会への参加を通じて大人と連携した地域行事等への参画・運営に関わる力やリーダーとしての資質の向上を図る。
生涯学習・スポーツ課	成人式	新成人の門出を祝うとともに、新成人に大人としての自覚と責任を促す。	期日：平成31年1月3日 会場：とりぎん文化会館 内容：式典、アトラクション 市報等による公募による者と各地区公民館、合併地域からの推薦のあった者で実行委員会を設置し、成人式を企画運営する。	期日：平成31年1月3日 会場：とりぎん文化会館梨花ホール 参加者数：約1,700人 内容：OP 傘踊り しゃんしゃん傘踊りチーム「百花繚蘭」 式典、イベント「中学校の恩師によるメッセージ」 実行委員8名が企画運営を行った。	A	新成人で構成される実行委員が成人式の企画・運営を行い、当日のイベント運営はスムーズに進行できた。鳥取県の伝統芸能の魅力の発信やお世話になった恩師によるビデオメッセージにより、成人になることの責任や自覚を持つ機会を作ることができたため。	実行委員広報を強化し、委員確保に努め、実行委員会を開催する。	期日：令和2年1月3日 会場：とりぎん文化会館 内容：式典、アトラクション 市報等による公募による者と各地区公民館、合併地域からの推薦のあった者で実行委員会を設置し、成人式を企画運営する。
生涯学習・スポーツ課	青年団体育成事業（地区青年団体補助）	青年活動団体に対し、補助金を交付することで、青年活動の振興と地域の活性化を推進する。	地区の青年団体に運営費を助成する。 予算50,000円	青年団体育成補助：0団体 補助金額：0円	D	青年団体育成助成事業に応募がなかった。 募集の受付期間等が短く、見直し必要がある。	募集期間を延ばし、青年団体が応募しやすい期間に設定する。	地区の青年団体に運営費を助成する。 予算：100,000円
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	趣味の教室	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図るため、囲碁、将棋、書道など多くの趣味の教室を鳥取市高齢者福祉センター等に設け、年度を通して定期的に活動する。	開催場所：高齢者福祉センター 内容：囲碁、将棋、書道、民謡、手工芸、生け花、謡曲、おどり、日本画、短歌、俳句、表装、詩吟、陶芸、木工	開催場所：高齢者福祉センターほか 内容：囲碁、将棋、書道、民謡、手工芸、生け花、謡曲、おどり、日本画、短歌、俳句、表装、詩吟、陶芸、木工 参加者数：536人	A	前年度と比較すると参加者数が増加しており、継続的な活動による高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりの推進に大きな役割を果たしていると考えられるため。	参加者の確保につながるよう市報による広報を継続する。	開催場所：高齢者福祉センター 内容：囲碁、将棋、書道、民謡、手工芸、生け花、謡曲、おどり、日本画、短歌、俳句、表装、詩吟、陶芸、木工
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	高齢者介護予防支援バス運行	高齢者が広く地域社会と交流を図り、生きがいをもつため、高齢者の団体に対して高齢者介護予防支援バスを運行する。	対象者：10人以上の60歳以上高齢者の団体 運行時間：午前9時から午後4時（土日、祝日、年末年始除く） 運行範囲：鳥取県内 市社会福祉協議会へ事業委託	利用回数：623回 利用人数：10,993人	A	前年度と比較すると利用回数、人数ともに増加しており、ほぼ毎日の利用があり、高齢者の地域社会との交流が図られ、生きがいを高めていると考えられるため。	公共交通機関利用促進事業への転換などの検討が必要である。	対象者：10人以上の60歳以上高齢者の団体 運行時間：午前9時から午後4時（土日、祝日、年末年始除く） 運行範囲：鳥取県内 市社会福祉協議会へ事業委託

高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	老人囲碁・将棋大会	囲碁・将棋を通じて高齢者相互の交流を図り生きがいを高める。	開催場所：高齢者福祉センター 内容：囲碁・将棋大会を通じた高齢者交流	開催場所：高齢者福祉センターほか 内容：囲碁・将棋大会を通じた高齢者交流 参加者数：104人	A	参加者数が若干減少したものの、大会開催数は安定しており、高齢者相互の交流を図り生きがいを高めていると考えられるため。	引き続き活動を実施し、安定した開催数・参加者数の維持に努める。	開催場所：高齢者福祉センターほか 内容：囲碁・将棋大会を通じた高齢者交流
協働推進課	交通安全対策費（高齢者対象地域交通安全活動支援事業）	高齢者を対象とした地域交通安全活動を実施する団体を支援し、地域における交通安全運動をより活性化することで、交通安全意識の向上と交通事故発生数の減少を目的とする。	随時	高齢者宅訪問：交通安全運動期間中実施、年4回×100軒実施 高齢者講習会：年間40回実施、交通安全啓発物品約1,200個配布	A	計画通り実施できた。	なし	随時
生涯学習・スポーツ課	高齢者生きがい促進総合事業（尚徳大学）	高齢者の総合的な学習活動の機会を提供し、生きがいづくりなどをめざした学習を推進する。	社会、書道、絵画、民芸、健康、郷土、彫刻、文芸の8つの専門コースを月2回程度開催。月1回の合同学習の開催。 平成30年度も引き続き一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）	開催講座数：8コース10講座 講座実施回数：126回 受講者数：560人 延べ参加者数：6,475人 平成29年度より一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）	A	計画通り実施したので、事業目的は概ね達成できたと考えられるため。	必要に応じて改善等図りながら、さらなる生涯学習の推進を目指していく。	社会、書道、絵画、民芸、健康、郷土、彫刻、貢献の8つの専門コースを月2回程度開催。月1回の合同学習の開催。 平成31年度も引き続き一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日）
教育委員会青谷町分室	健全育成事業	青谷町内での自然体験を通して郷土愛を育み、様々な人とふれあう機会を持たせる。	あおや鳴り砂ビーチフェスタの共催	悪天候により中止	E	事業中止	天候に左右されない事業の実施	青谷地域子ども交流会の開催
教育委員会青谷町分室	高齢者教室	高齢者の生きがいと健康づくりを促進する	高齢者の生きがいと健康づくりを促進する教室を開催10回	高齢者の生きがいと健康づくりを促進する教室を開催10回。延べ523人参加。	A	計画通り実施した	送迎バスを含め、事業内容と運営方法の検討	高齢者の生きがいと健康づくりを促進する教室を9回開催
教育委員会青谷町分室	生活に密着した教室	日常生活の潤いと生きがいづくり	料理教室等を開催	未開催	-	職員の削減により、事業削減	地区単位で様々な教室を開催しており、分室主催で開催する意義がなくなっている。	事業廃止
教育委員会青谷町分室	一般教養講座	健康的で明るい文化的な生活	健康的で明るい文化的な生活に寄与する講座を開催	未開催	-	職員の削減により、事業削減	地区単位で様々な教室を開催しており、分室主催で開催する意義がなくなっている。	事業廃止
教育委員会青谷町分室	地域再発見講座	青谷地域内の歴史文化や自然について学習し、青谷の魅力を再発見	別組織で実施	未開催	-	職員の削減により、事業削減	地区単位や別組織で事業を開催しており、分室主催で開催する意義がなくなっている。	事業廃止
教育委員会青谷町分室	音読教室	成人を対象として、声を出して本を読む楽しさと大切さを学ぶ	1回15名程度年間9回	コミュニティセンターで6回。延べ78名参加。出張で3回開催。	A	計画通り実施した	特になし	1回15名程度コミュニティーセンターで年間6回。出張で随時開催。

(3) 「学び直し」や新たな学びへの挑戦ができる機会の充実

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座（輝なんせ鳥取による講座）	生涯を通して、男女がいきいきと心豊かに暮らしていくための技術・知識の習得を図る。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：17講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：608人（定員479人）	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	今後も多くの方に参加してもらえるよう、引き続き、開催方法の工夫や講座の充実を図っていく。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
観光戦略課	鳥取市観光大学	鳥取市観光大学を開設して、観光マイスターを養成し、鳥取市のホスピタリティの向上を図る。	鳥取市観光コンベンション協会が実施している観光大学事業を支援する。	第13期受講者24名、合格者（観光マイスター）23名。事業費893,700円（うち市補助金526,000円）	B	観光大学は計画通り実施されたが、受講生が予定人数を下回ったため。	受講生募集方法の見直し。	鳥取市観光コンベンション協会が実施している観光大学事業を支援する。
生涯学習・スポーツ課	市民大学	社会人を対象とした、専門的な知識や一般的な教養を習得する生涯学習講座を充実させること。	山陰海岸ジオパーク講座5回、国際理解講座5回、市民健康講座5回、特別講座3回、郷土の歴史講座6回、社会講座6回 平成30年度も引き続き一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）	山陰海岸ジオパーク講座4回、国際理解講座4回、市民健康講座4回、鳥取放送文化講座3回、郷土の歴史講座6回、社会講座6回、特別講座（麒麟獅子舞）3回 参加人数：延1,052人 平成29年度より一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日）	A	計画通り実施したので、事業目的は概ね達成でき、満足度の高い講座を実施できた。また、参加者数も増加したことから充実した生涯学習講座を実施できたと考えられるため。	必要に応じて改善等図りながら、さらなる生涯学習の推進を目指していく。	山陰海岸ジオパーク講座4回、国際理解講座4回、市民健康講座4回、鳥取放送文化講座3回、郷土の歴史講座6回、社会講座6回、特別講座（麒麟獅子舞）3回 平成29年度より一財）鳥取市教育福祉振興会に生涯学習講座運営等業務委託を行う。（委託契約期間：平成31年4月1日～平成31年3月31日）

(4) 各年代に対応した健康づくり及びスポーツ・レクリエーション活動の支援

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	新春健康マラソン大会開催費 (旧山の手マラソン)	年頭(例年1月3日)に、健康マラソンを走ることにし、市民の健康維持とリフレッシュを図る。	開催期日：1月3日 開催場所：コカ・コーラウエストスポーツパーク 開催内容：ファミリー(1km)、1.5km小学生、1.5km中学生以上、3km、5km	大会開催 参加人数：818人	A	布勢陸上競技場周辺を会場に、多くの市民が新春の走り初めを実施することができた。	継続実施	開催期日：1月3日 開催場所：コカ・コーラウエストスポーツパーク 開催内容：ファミリー(1km)、1.5km小学生、1.5km中学生以上、3km、5km
生涯学習・スポーツ課	スポレク祭開催費	市民誰もが気軽に参加できるニュースポーツ中心のレクリエーション競技を実施し、生涯スポーツの普及を図る。	開催期日：9月2日ほか 開催場所：市民体育館ほか 開催内容：ニュースポーツ等を中心に14種目	大会開催(14種目) 参加人数：837人	A	今年度も14種目を実施し、多くの市民に参加いただけた。	より多くの市民に参加いただけるよう、種目、内容の改善を図っていく。	開催期日：9月1日ほか 開催場所：市民体育館ほか 開催内容：ニュースポーツ等を中心に14種目
生涯学習・スポーツ課	スポーツ教室開催費	鳥取市体育協会に所属する各種目協会などによるスポーツ教室を通じ、スポーツの普及拡大を図る。	種目毎に随時開催	21種目 参加者数：15,793人	A	昨年度より1種目減ったが、多くの市民に参加いただき、幅広い種目でスポーツに触れる機会が増えた。	継続実施	種目毎に随時開催
生涯学習・スポーツ課	みんなで歩こう会	郷土の名勝・旧跡を訪ねながら、みんなで歩くことにより健康及び体力の増進を図る。	毎月1回、郷土の名勝・史跡を巡る「歩こう会」を開催(市民団体実施事業)	毎月1回、郷土の名勝・史跡を巡る「歩こう会」を開催(市民団体実施事業)	A	鳥取市内から近隣の県外市町などコースを変更しながら、参加者がウォーキングを楽しむことができた。	継続実施	毎月1回、郷土の名勝・史跡を巡る「歩こう会」を開催(市民団体実施事業)
生涯学習・スポーツ課	鳥取市武道館 武道教室	文化や伝統を尊重し暖かく豊かな心を育て、礼儀作法を大切に、技術の修得の過程において心身を鍛錬しながら人間形成を図る。	柔道教室、剣道教室、ヨガ教室を通年開催(指定管理者実施事業)	柔道教室80回、剣道教室80回、チャレンジ柔道形教室1回・剣道ミニレッスン1回、リラックスヨガ教室8回開催(指定管理者実施事業)	A	定期開催の柔・剣道教室を開催することにより、参加者自身の鍛錬をはじめとした人間形成を図ることができた。	継続実施	柔道教室、剣道教室、ヨガ教室を通年開催(指定管理者実施事業)
生涯学習・スポーツ課	鳥取市B&G海洋センター事業	こども、社会人、中高年等を対象に、明るく健康に過ごせるようなスポーツ教室を開く。特に武道、海洋性スポーツを通じて、鳥取の自然や文化を楽しむことの育成を図る。	剣道教室、なぎなた教室、ヨット・カヌー教室、テニス教室、インドアテニス教室を随時開催(指定管理者実施事業)	少年少女ヨット・カヌー大会、テニス大会、スポーツ交流会、七夕イベント、クリスマスイベント、カヌー体験 各1回 出前カヌー教室2回	A	剣道・なぎなた・テニス教室を定期的に開催することにより参加者の健康増進を図ることができた。また、地域への出前カヌーを行うことにより、地域の子どもたちに海洋性スポーツの楽しさについて触れてもらうことができた。	継続実施	剣道教室、なぎなた教室、ヨット・カヌー教室、テニス教室、インドアテニス教室を随時開催(指定管理者実施事業)
生涯学習・スポーツ課	市民体育祭	スポーツ大会への参加を通じ、市民の体力の増進を図るとともに、地域人々、地域間の交流を促進する。	開催期日：5月中旬から10月上旬まで 開催場所：市民体育館ほか 開催内容：小学校校区ごとに20種目の競技を行い得点を競い合う	鳥取市の掲げる市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツの推進はもとより小学校区対抗とすることで、地域の一体感の醸成、他地域の交流の場として寄与している。 参加人数：約22,500人	A	市内を44校区に分け、20種目(うちオープン種目5種目)で競技を実施し、スポーツを通じた地域及び市民間の交流をすることができた。	選手の高齢化が進んでおり、若年層が参加しやすい環境を構築していく。	開催期日：4月下旬から10月上旬まで 開催場所：市民体育館ほか 開催内容：小学校校区ごとに20種目の競技を行い得点を競い合う
生涯学習・スポーツ課	地区体育祭	スポーツを通して健康づくりや体力の向上を目指すとともに明るい地域づくりの交流を深める。	運動会、バレーボール、ソフトボール、卓球大会等を各地区で随時実施	運動会、バレーボール、ソフトボール、卓球大会等を各地区で随時実施	A	各地域で体育祭やスポーツイベントを企画、実施し、住民同士の交流を図れた。	継続実施	運動会、バレーボール、ソフトボール、卓球大会等を各地区で随時実施
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	スポーツ教室	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図る。	開催場所：鳥取市民体育館ほか 内容：ニュースポーツ講習会を通じて健康の維持・増進	開催場所：鳥取市民体育館ほか 内容：ニュースポーツ講習会を通じて健康の維持・増進 参加者数：123人	A	前年度よりも参加者数が増加しており、健康の維持・増進の役割を果たすとともに、ニュースポーツの普及にも寄与していると考えられるため。	引き続き活動を実施し、高齢者の健康の維持・増進を図る。	開催場所：鳥取市民体育館ほか 内容：ニュースポーツ講習会を通じて健康の維持・増進
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	おとしより大運動会	スポーツを通じて、高齢者相互の親睦とともに生きがいづくりと健康増進を図る。	「おとしより芸能大会」と「おとしより大運動会」を隔年で開催しており、平成30年度は「おとしより芸能大会」を開催する。	-	-	「おとしより芸能大会」との隔年開催のため、平成30年度は開催なし。	引き続き、「おとしより芸能大会」と「おとしより大運動会」を隔年で開催し、高齢者の親睦交流、健康増進を図っていく。	開催場所：鳥取市民体育館 内容：運動会
教育委員会鹿野町分室	地区公民館事業 (総合型地域スポーツクラブ育成事業)	地域住民の健康増進と地域のスポーツ環境を整備するため実施。	地域の健康増進とスポーツ環境整備を目的とし、地域型総合スポーツクラブ「NPO法人鹿の助スポーツクラブ」へスポーツ教室の開催を委託する。(スポーツ教室6教室33回)	スポーツ教室(トレーニング機器講習及びストレッチ教室、健康づくり教室、水中ウォーキング教室、アーチェリーハンティング等)6教室30回開催。参加者数延べ278人。	B	教室開催回数、参加者数とも前年を下回ったが、継続的な教室を開催することができた。	教室開催の広報を強化し、幅広い世代の参加とともに参加人数の増加を目指す。	地域の健康増進とスポーツ環境整備を目的とし、地域型総合スポーツクラブ「NPO法人鹿の助スポーツクラブ」へスポーツ教室の開催を委託する。(スポーツ教室6教室44回)
中央保健センター	離乳食講習会	離乳食の適切な摂取と望ましい食習慣の定着を図る。	開催場所：さざんか会館、国府地区保健センター、河原老人福祉センター、気高地区保健センター 実施回数：4会場全42回開催(受講保護者709人) 講座内容：離乳期の月齢に添った適正な摂取方法や離乳食開始を機とした生涯の健康づくりにつながる食生活の講話、調理実演および試食、個別相談(希望者)を実施。	開催場所：さざんか会館、国府地区保健センター(1月からは鳥取東健康福祉センター)、河原老人福祉センター、気高地区保健センター 実施回数：4会場全42回開催(受講保護者690人) 講座内容：離乳期の月齢に添った適切な摂取方法や離乳食開始を機とした生涯の健康づくりにつながる食生活の講話、調理実演および試食。希望者に個別相談を実施。	A	受講後アンケートでは9割以上が「参考になった」と回答。受講前の保護者の「不安項目」は6割が「作り方・メニュー」とある中、受講後の「参考になった具体的な内容」では、「作り方やメニュー」と回答した者が7割以上あった。講話に併せて、実演、試食を行う体験型の内容の効果は高いと考えられる。	配布物の工夫や会場の配置検討、保育士等関係職員との連携などを強化し、より充実した内容にする。あわせて個々に応じた相談を高いスキルをもって実施し、集団指導のみならず、保護者の不安軽減、児の健やかな成長につながることに引き続き努める。	開催場所：さざんか会館、鳥取東健康福祉センター、河原老人福祉センター、気高地区保健センター 実施回数：4会場全42回開催 講座内容：離乳期の月齢に添った適正な摂取方法や離乳食開始を機とした生涯の健康づくりにつながる食生活の講話、調理実演および試食、個別相談(希望者)を実施。
農業振興課 農政企画課	市民農園設置事業費	市民農園を開設することにより、遊休農地の有効利用、市民の健全なレクリエーション機会の創出及び健康の増進等に資する。	市民農園設置数 7地区 399区画	市民農園設置数 7地区 337区画(利用率84.5%)	B	利用区画率が7割を上回っているため	継続実施し、さらなる利用率向上を目指す。	市民農園設置数 7地区 399区画
教育委員会用瀬町分室	もちがせ流しびなマラニック大会	市民相互の健康づくり及び親睦、健全なスポーツ活動の振興を図る。	開催日時：平成30年5月20日(日)受付 8:30～ 出発 10:00～12:30 開催場所：流しびなの館周辺 事業内容：3・5・10kmのマラソンコースを年代・性別に分けた11種目とウォーキング2コースの合わせて5コース・13種目で開催。ランナーからゆっくり歩く人まで誰でも気軽に参加できる大会。本年度第31回を迎える。	開催日時：平成30年5月20日(日)受付 8:30～ 出発 10:00～12:30 開催場所：流しびなの館周辺 事業内容：3・5・10kmのマラソンコースを年代・性別に分けた11種目とウォーキング2コースの内1コースを中止し合わせて4コース・12種目で開催。参加申し込み 1,356人。 アンケート：参加回数1-25%・2以上-61%・10以上-14%	B	計画を概ね達成した。	事業内容、運営方法の見直し	開催日時：令和元年5月19日(日)受付 8:30～ 出発 10:00～12:30 開催場所：流しびなの館周辺 事業内容：3・5・10kmのマラソンコースを年代・性別に分けた10種目とウォーキングを合わせて4コース・11種目で開催。ランナーからゆっくり歩く人まで誰でも気軽に参加できる大会。第32回。
教育委員会福部町分室	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催	らっきょうマラソン大会を通して、地場産業の振興とあわせ、観光農業を含めた地域の振興を図る。 らっきょうマラソン大会を通して、観光農業を含めた地域の振興を図る。10キロ、5キロ、3キロのコースを自分の健康にあわせて赤紫の花咲くらっきょう畑の中を走る。	開催日：平成30年10月28日(日) 開催場所：鳥取砂丘オアシス広場 スタート：10:00から らっきょうマラソン大会を通して、観光農業を含めた地域の振興を図る。 10キロ、5キロ、3キロ、ウォークのコースを自分の健康にあわせて赤紫の花咲くらっきょう畑の中を走る。	開催日：平成30年10月28日(日) 開催場所：鳥取砂丘オアシス広場 スタート：10:00から 事業内容 10キロ、5キロ、3キロ、ウォークのコースを自分の健康にあわせて赤紫の花咲くらっきょう畑の中を走る。参加者数1,600名	A	計画通り実施出来たため	引き続き、らっきょうマラソン大会を通して、地場産業の振興とあわせ、観光農業を含めた地域の振興を図る	開催日：令和元年10月27日(日) 開催場所：鳥取砂丘オアシス広場 スタート：10:00から らっきょうマラソン大会を通して、観光農業を含めた地域の振興を図る。 10キロ、5キロ、3キロ、ウォークのコースを自分の健康にあわせて赤紫の花咲くらっきょう畑の中を走る。

教育委員会青谷町分室	スポーツ教室	市民の健康づくりと生涯スポーツの普及を図る。	事業廃止		-			
教育委員会青谷町分室	こばしまウォーキング	心と身体の健康づくりと青谷町内の豊かな自然を体感する	開催日：平成30年11月3日(土・祝) 実施場所：日置谷地区公民館発着 参加募集100名 「ウォーキング立県19のまちを歩こう」「鳥取市西いなばようこそスタンプラリー」と連携。ゴール後はお楽しみ抽選会を実施。	開催日：平成30年11月3日(土・祝) 実施場所：日置谷地区公民館発着 参加者82名 「ウォーキング立県19のまちを歩こう」「鳥取市西いなばようこそスタンプラリー」と連携。ゴール後はお楽しみ抽選会を実施。	A	計画通り実施した	特になし	開催日：令和元年11月予定 実施場所：青谷地区内 参加募集100名 「ウォーキング立県19のまちを歩こう」と連携。ゴール後はお楽しみ抽選会を実施。
教育委員会青谷町分室	青谷町正月マラソン大会	“楽しくマイペースで走ろう”をキャッチフレーズに、参加者一人ひとりが年間を通して心身共に健康な体を養い、維持していく	平成31年1月1日(火)開催予定	開催日：平成31年1月1日(火)、実施場所：青谷町農林漁業者トレーニングセンター発着、193名参加。ゴール後は豚汁をふるまい、福引大会を実施。	A	計画通り実施した	特になし	令和2年1月1日(水)開催予定
教育委員会青谷町分室	青谷町ソフトバレーボール大会	ソフトバレーボールの普及と市民の健康増進及びこれに係る意識の高揚に資すること	平成31年2月17日(日)開催予定	開催日：平成31年2月17日(日)、実施場所：青谷町体育館、42名の参加。「混成の部」8チームで実施。	A	計画通り実施した	特になし	令和2年2月23日(日)開催予定

(5) 世代間交流や地域間交流の活性化を図る取組

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
さじアストロパーク	さじアストロパーク3大まつり	星・月・雪をテーマとして開催し、多くの皆さまにさじアストロパークにお越しいただき、地域住民と一緒に星・月・雪に親しみ・楽しく遊ぶ。	①星まつり 開催日 平成30年7月31日(火)～8月5日(日) ②月まつり 開催日 平成30年9月22日(土) ③雪まつり 開催日 平成31年2月11日(月)	①星まつり 開催日 平成30年7月31日(火)～8月5日(日) 参加者数 1,577人 ②月まつり 開催日 平成30年9月22日(土) 参加者数 349人 ③雪まつり 開催日 平成31年2月11日(月) 参加者数 339人	A	星まつりを地球に大接近した火星の観察の見ごころに合わせ6日間にわたって実施したため参加数が大幅に増加した。月まつり、雪まつりについては例年並みの参加数があり、アンケート結果も好印象の回答が多かった。	三大まつりは天候に左右される場合があり、一日のみの開催ではなく複数日での開催も視野に実施日を考えたい。また、開催実行委員やスタッフの確保と内容の充実に努めたい。	①星まつり 夏期に実施予定 ②月まつり 中秋の名月の秋期に実施予定 ③雪まつり 降雪のある冬期に実施予定
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	お年寄りや地域ぐるみの世代間交流	地域内の老人クラブ・子供会組織・障がい者等が互いに交流をすることによって、地域コミュニティの構築を図る。	開催場所：41地区 内容：地域による様々な催し等	開催場所：29地区 内容：地域による様々な催し等 参加者：3,677人	B	参加者数は減少したものの開催地区数は維持され、相互交流による地域コミュニティの構築が図られていると考えられるため。	引き続き多様な催しを実施することにより世代間交流を促進する。	開催場所：41地区 内容：地域による様々な催し等
教育委員会鹿野町分室	地区公民館事業(津和野町交流事業)	鹿野町時代からの姉妹都市である津和野町と親睦を図るため、相互訪問を実施する。	地域住民を主体とした相互訪問・交流事業を実施する。	津和野町からの訪問団を招き、亀井茲矩墓所や鳥取城跡などの文化財を訪れ、文化財の保存、活用等の観点から情報交換を行った。 日 時：平成30年11月19日(月)・20日(火) 訪問団：津和野町文化財保護審議会5名、津和野町教育委員会教育次長、津和野町主任学芸員1名、計7名 研修先：亀井茲矩墓所、護伝寺、国登録有形文化財「本田中家」、国指定史跡「鳥取城跡」、国指定史跡「鳥取藩主池田墓所」	A	本市の文化財活用事例である国登録有形文化財「本田中家」、国史跡「鳥取城跡」「鳥取藩主池田家墓所」等を視察し、文化財の保存、活用等について、両市町の取り組みなどの情報交換を行い、学ぶなど相互交流を行うことができた。	現在直面する課題解決に向けて、互いの地域の優れた取り組みを参考にすると等交流の活用を進め、両地域の発展につながる交流を引き続き展開していく。	地域住民を主体とした相互訪問・交流事業を実施する。
観光戦略課	岩国祭り派遣事業/姫路お城まつり派遣事業	本市の郷土芸能「しやんしやん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝及び姉妹都市岩国市、姫路市との交流を深める。(岩国市派遣事業は隔年で事業実施)	岩国まつり、姫路お城まつりで行われるパレードにしやんしやん傘踊り連を派遣。	岩国まつり、姫路お城まつりで行われるパレードにしやんしやん鈴の音大使と鳥取市観光協会連を派遣し、本市の観光PRを実施。	A	岩国市民、姫路市民をはじめ多くの観光客に観覧していただし、鳥取市のPRを十分に実施することができた。	継続して実施していく。	姫路お城まつりで行われるパレードにしやんしやん傘踊り連を派遣。
地域振興課	輝く中山間地域創出事業 中山交流促進モデル事業 (H30年度より事業名変更)	中山間地域の住民自らが行う課題解決や魅力創出の取組、中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援することにより、 <b>相互の連携と理解の機会を創出し</b> 中山間地域の活性化を図る。	中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援する。 目標実施件数：2交流	実施件数：1交流を支援	C	目標実施件数に対する達成率が50%となったため	各総合支所や中山間地域振興推進員と連携し、本事業の更なる広報・周知を行う。	中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援する。 目標実施件数：3交流
教育委員会福部町分室	むらづくり運動推進事業	福部町の活性化を図る ①環境美化活動の推進②青少年の健全育成を図る ③同和教育の推進	実施主体は福部地区公民館なので分室業務からは外す		-			
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業(子どもと大人のふれあい事業)	地域で子どもたちを育てる環境の整備を図ることにより、週末における子どもたちのボランティア活動・体験活動の機会を充実・支援する。	地区公民館において子どもと大人のふれあい事業の開催	全61地区公民館で実施。 実施回数：717回 延べ参加者数：32,738人	A	各地区が地域性を取り入れた計画を行い、実施できたため。	各地区がそれぞれ事業目的を達成できるよう必要に応じて支援していく。	地区公民館において子どもと大人のふれあい事業の開催

(6) その他(上記項目に該当しない事業)

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業(特色ある公民館活動事業)	地域の特性を踏まえて、特性を活かしながら、公民館独自の発想で事業を企画・実施する。	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催	全62地区公民館(分館1館含む)で実施。 実施回数：488回 延べ参加者数：7,588人	A	各地区が地域性を取り入れた計画を行い、実施できたため。	各地区がそれぞれ事業目的を達成できるよう必要に応じて支援していく。	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催
鳥取砂丘・ジオパーク推進課	山陰海岸ジオパーク出前講座・現地学習会事業	山陰海岸ジオパークを題材とした自然環境、歴史・文化、産業、生活様式などの地域資源を活用して、体験・学習の場づくりを図る。	各地区公民館の要望に沿ったテーマやルートコースの提案を行い、あわせて講師または現地ガイドを派遣し、公民館活動を支援する。	ジオパーク拠点施設での実績 出前講座、校外学習受入れ等：40校 出前講座、現地研修受入れ等：45団体	A	各ジオサイトに訪れる観光客を中心に、ジオパークの内容や仕組みを理解してもらえた。	「地域社会の課題解決力・教育力向上と家庭教育の強化」の項目で出している校外学習支援の数値と重複すること、これまで集計している数字は拠点施設の来館した団体数等なので事業計画にある公民館活動を支援する目的に該当しないため本項目を削除する予定。	各地区公民館の要望に沿ったテーマやルートコースの提案を行い、あわせて講師または現地ガイドを派遣し、公民館活動を支援する。

2 社会的課題に関する学習機会の充実

(1) 共生社会の実現を旨とした人権に関する学習の推進

資料2

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座 (輝なんせ鳥取による講座) 「再掲」	性別による役割分担意識等に基づく社会的慣習・風潮の見直しと啓発を図る。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：17講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：608人(定員479人)	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	今後も多くの方に参加してもらえるよう、引き続き、開催方法の工夫や講座の充実を図っていく。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
人権推進課	研究会開催事業 (人権尊重社会を実現する鳥取市民集会等)	同和問題をはじめとするあらゆる人権課題の解決をめざして研修を深め、実践と交流の輪を広げることを中心に市民集会を開催する。本市民集会は、毎年2,000人近くの参加が見込まれ、あらゆる人権問題の解決に向けた取組みが発表されており、本市の人権啓発・教育の柱として、重要な役割を担っている。また、新市域での人権問題に関わる集会等も実施し、市全体での人権啓発・教育に取り組む。	市民集会は、午前に全体会(講演等)、午後に分科会(事例研究・パネルディスカッション等)を行い、あらゆる人権問題の解決に向けた研究討議を実施する。総合支所で開催する集会等も広く市民に参加を呼びかけ、講演会や討論会を実施する。 ・国府町 人権尊重のまちづくり国府町市民集会 ・福部町 人権啓発研究会 ・河原町 人権講演会 ・用瀬町 あらゆる差別をなくする用瀬町市民集会 ・佐治町 人権のまちづくり佐治町民集会 ・気高町 人権のまちづくり講演会 ・鹿野町 人権教育に取り組む町民集会 ・青谷町 人にやさしいまちづくり大会 など	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会(H30.8.21開催、1000人参加)は、午前に全体会(講演)、午後から人権課題別に6つの分科会を行い、あらゆる人権問題の解決に向けた研究討議を実施した。また、総合支所では講演会や討論会を実施した。 ・国府町 人権尊重のまちづくり国府町市民集会(H30.11.23開催、100人参加) ・河原町 人権講演会(H30.12.2開催、150人参加) ・用瀬町 あらゆる差別をなくする用瀬町市民集会(H31.3.2開催、100人参加) ・佐治町 人権のまちづくり佐治町民集会(H30.12.8開催、34人参加) ・気高町 人権のまちづくり講演会(H30.11.24開催、50人参加) ・鹿野町 人権教育に取り組む町民集会(H30.11.17開催、170人参加) ・青谷町 人にやさしいまちづくり大会(H30.12.9開催、19人参加)	B	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の参加者は前年実績1,200人に対し1,000人となり、前年度より減少した。	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会をはじめ、新市域でも講演会や集会を毎年実施している。その時々々の社会情勢をみて、関心度の高いテーマを取り上げて開催していくことが重要だと考える。	市民集会は、午前に全体会(講演等)、午後に分科会(事例研究・パネルディスカッション等)を行い、あらゆる人権問題の解決に向けた研究討議を実施する。総合支所で開催する集会等も広く市民に参加を呼びかけ、講演会や討論会を実施する。 ・国府町 人権尊重のまちづくり国府町市民集会 ・福部町 人権啓発研究会 ・河原町 人権講演会 ・用瀬町 あらゆる差別をなくする用瀬町市民集会 ・佐治町 人権のまちづくり佐治町民集会 ・気高町 人権のまちづくり講演会 ・鹿野町 人権教育に取り組む町民集会 ・青谷町 人にやさしいまちづくり大会 など
人権推進課	鳥取市人権教育協議会補助金 (各種団体等を対象とした人権啓発)	鳥取市人権教育協議会は、社会教育団体、企業、行政関係団体などが加入し、各種の啓発活動を実施している。この鳥取市人権教育協議会の運営に要する経費を補助することにより、さまざまな人権問題解決の取り組みを推進する。	鳥取市人権教育協議会(事務局：人権推進課)の主な事業計画 ・人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の企画運営 ・各部会(社会教育・企業・行政関係)における研修会等の開催 ・全国集会等への派遣(西日本夏期講座、部落解放研究全国集会、全国人権・同和教育研究大会、人権啓発研究会、人権尊重社会を実現する鳥取県研究会) ・市人教だより「つなぐ」の発行	・補助金 3,259千円 ・第45回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会(H30.8.21開催、1000人参加) ・市人教だより「つなぐ101号」発行 市内全戸配布 ・社会教育部会、企業部会、行政関係部会で研修会を延7回開催 ・各種全国集会等への派遣 延33人	B	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の参加者は1,000人となり、前年度より減少した。当初予定していた事業は滞りなく実施することができた。	鳥取市人権教育協議会(事務局：人権推進課)の主な事業計画 ・人権尊重社会を実現する鳥取市民集会の企画運営 ・各部会(社会教育・企業・行政関係)における研修会等の開催 ・全国集会等への派遣(西日本夏期講座、部落解放研究全国集会、全国人権・同和教育研究大会、人権尊重社会を実現する鳥取県研究会) ・市人教だより「つなぐ」の発行	
人権推進課	社会人権教育推進事業	地域に根ざした人権教育を推進するため、住民と直結した推進体制の充実を図る。具体的には、人権啓発の指導者養成を目的とした研修会・講座の開催、また全国規模の各種研修会への派遣を行い、人権教育の推進に生かすことを目的とする。	・地区同推協等会長研修会(年1回開催) 地区同推協等の会長を対象とした研修会を実施し、地域のリーダーを育成する。 ・推進員全体研修会(年2回開催) 各地区から推薦された4名の推進員を対象とした研修会を実施し、人材育成を図る。 ・市人権教育推進員の派遣 各地区同推協等主催で行われる小地域懇談会等の実施をサポートする。 ・全国集会への派遣	・地区同推協等会長研修会(H30.6.27開催、48人参加) 地区同推協等の会長を対象とした研修会(講演)を実施し、地域のリーダーを育成を図った。 ・推進員全体研修会(H30.11.16、11.17開催 延132人参加) H30.7.6及び7.7開催分については、西日本豪雨により中止したため、年1回の開催となった。 ・市人権教育推進員の派遣(配備人数13人、派遣回数302回) 地区同推協等主催で行われる小地域懇談会等の実施をサポートした。 ・全国集会へ派遣した。(4集会へ延19人)	B	荒天のためやむを得ず開催を断念した事業を除き、昨年度以上の参加(派遣)人数があり、おおむね事業計画のとおり実施できた。	・地区同推協等会長研修会(年1回開催) 地区同推協等の会長を対象とした研修会を実施し、地域のリーダーを育成する。 ・推進員全体研修会(年2回開催) 各地区から推薦された4名の推進員を対象とした研修会を実施し、人材育成を図る。 ・市人権教育推進員の派遣 各地区同推協等主催で行われる小地域懇談会等の実施をサポート(指導や助言等)する。 ・全国集会への派遣	
人権推進課	市人権啓発推進協議会連合会補助金 (地域における人権啓発の推進)	鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会は52地区同推協等が加盟している団体で、あらゆる人権問題の解決に向けて、地域に根ざした人権教育をさらに推進している。連合会の活動に対して補助することにより、それぞれの地区同推協等における、小地域懇談会を主とした諸活動を充実させる。	・各地区同和教育推進協議会等(52地区)への活動助成 ・地区人権啓発推進員の育成を目的とした研修会の開催 ・ブロックごと(10ブロック)の研修会(全体研・推進員研・会長研)の実施 ・全国集会・市、県研究会等への派遣 など	・各地区同推協等活動助成 補助金9,320千円 ・推進員全体研修会(H30.11.16、11.17開催 延132人参加) H30.7.6及び7.7開催分については、西日本豪雨のため中止。 ・各地区同和教育推進協議会等(52地区)への活動助成 ・ブロックごと(10ブロック)の研修会(全体研・推進員研・会長研)を実施した(延30回) ・全国集会・市、県研究会等へ派遣した。(全国集会：4集会へ延19人、市及び県研究会へ延427人)	B	荒天のためやむを得ず開催を断念した事業を除き、おおむね事業計画のとおり実施できた。各種集会については、県研究会が本市で開催されたこともあり、昨年度以上の派遣人数があった。	・各地区同和教育推進協議会等(52地区)への活動助成 ・地区人権啓発推進員の育成を目的とした研修会の開催 ・ブロックごと(10ブロック)の研修会(全体研・推進員研・会長研)の実施 ・全国集会・市、県研究会等への派遣 など	
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業(人権啓発推進事業)	各地区公民館で、人権教育の推進と人権問題について正しい知識を深める研修会等を開催する。	地区公民館において人権啓発推進事業の開催	61地区公民館(分館1館含む)で実施。 実施回数：162回 延べ参加者数：6,437人	A	各地区が地域性を取り入れた計画を行い、実施できたため。	各地区がそれぞれ事業目的を達成できるよう必要に応じて支援していく。	地区公民館において人権啓発推進事業の開催

(2) 男女共同参画に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座 (輝なんせ鳥取による講座) 「再掲」	男女共同参画について認識を深めるための啓発を図る。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：17講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：608人(定員479人)	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	今後も多くの方に参加してもらえるよう、引き続き、開催方法の工夫や講座の充実を図っていく。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
男女共同参画課	男女共同参画啓発事業 (図書・ビデオの収集・貸出)	図書・情報コーナーを充実することにより、男女共同参画に関する意識啓発を図る。	男女共同参画に関する図書・ビデオの収集・貸出を実施。	図書貸出数：397人(736冊) ビデオ貸出数：0人(0本)	AA	利用人数・貸出数も前年と比較し2倍以上の実績あり、利用者のニーズにあったものとなっている。	より幅広い分野にわたる図書を増やし、利用者への啓発に努める。	男女共同参画に関する図書・ビデオの収集・貸出を実施。

男女共同参画課	女と男とのハーモニーフェスタ事業	男女共同参画社会実現のための活動団体等で構成する実行委員会による市民へむけた啓発事業。	開催場所、日時、内容等未定	開催日時：平成30年9月29日（土） 開催場所：市民会館 参加者数：430人 事業内容：映画鑑賞、ワークショップ、展示、即売等	AA	実施内容、広報の手段など検討した結果、前年と比較し参加者が大幅に増えた。	女性の積極的な社会参画意識の高揚と男女共同参画を推進する団体活動の育成及び相互の連携強化に有効な事業である。今後も、より多くの市民に啓発できるイベントを目指し、実行委員会の運営方法や企画内容について検討する必要がある。また、十分な広報かつ広報活動を実施し、広く市民への周知を図る必要がある。	開催日時：令和元年10月5日（土） 開催場所：市民会館 事業内容：映画鑑賞、ワークショップ、展示、即売等
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業（人権啓発推進事業）（再掲）	各地区公民館で、人権教育の推進と人権問題について正しい知識を深める研修会等を開催する。	地区公民館において人権啓発推進事業の開催	開催回数：17講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：608人（定員479人）	A	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	今後も多くの方に参加してもらえるよう、引き続き、開催方法の工夫や講座の充実を図っていく。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等

(3) 防災、安全、消費生活等の生活に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
地域福祉課 高齢社会課 (H30～)	各種相談事業	市民からの心配ごと相談や、弁護士・司法書士等による無料専門相談を実施する。	法律相談 さざんか会館12回/年、各総合福祉センター計12回/年 司法書士相談 さざんか会館12回/年、各総合福祉センター計3回/年 心配ごと相談 さざんか会館36回/年、各総合福祉センター計96回/年 一般相談 さざんか会館 99日程度/年	○法律相談 16回実施 ○司法書士相談 5回実施 ○心配ごと相談 143回実施 ○一般相談 96回実施 延相談件数 115件	B	予定の相談件数が未達成のため	特になし	○法律相談 さざんか会館12回/年、各総合福祉センター計8回/年 ○司法書士相談 さざんか会館12回/年、各総合福祉センター計3回/年 ○心配ごと相談 さざんか会館36回/年、各総合福祉センター計96回/年 ○一般相談 さざんか会館100日程度/年
危機管理課	鳥取市防災リーダー養成研修	市民の防災意識の高揚、自主防災組織育成など地域防災力の強化を図るため、地区公民館の管轄する地域を単位として、防災指導員、防災リーダーを設置する。	【研修内容】鳥取大学教授陣など各分野のエキスパートを講師とした自然・気象災害のしくみからその対策まで防災に関する講座を開設することで、高度の知識・技能を習得し、地域における自主防災活動活性化のために活躍できる人材の養成を図る。（4講座/日×3日間＝全12講座） 【会場】鳥取環境大学 【開催日】7月22日（日）、8月19日（日）、9月2日（日） 【修了見込】リーダー登録者数…82名（受講者数…300名/実人数）	【研修内容】鳥取大学教授陣など各分野のエキスパートを講師とした自然・気象災害のしくみからその対策まで防災に関する講座を開設することで、高度の知識・技能を習得し、地域における自主防災活動活性化のために活躍できる人材の養成を図る。（4講座/日×3日間＝全12講座） 【会場】鳥取環境大学 【開催日】7月22日（日）、8月19日（日）、9月2日（日） 【修了実績】リーダー登録者数…76名/受講者延人数…403名（新規受講者は3回、再受講者・フォローアップ受講者は複数回受講により）	A	研修修了者を新たに地域の防災活動の中心となる「防災リーダー」として登録、各地域において活動してもらうことを目的として3日間の研修を実施した。新規受講者は3回、再受講者は昨年の未受講回数を満たすべく研修に臨み、最終的に76名が要件を満たし新規防災リーダーの登録に至った。またフォローアップを目的とした受講者は防災知識のさらなる向上という目的を果たした。	新規防災リーダー登録者数は年々増加しており、市民の防災意識の高揚、自主防災組織の育成など地域防災力の強化につながっている。今後も自主防災会連絡協議会、自治連合会、まちづくり協議会を通じて広く受講者を募る方針である。また、新たに女性リーダー研修を設けたり、既存防災リーダーの研修を新規養成研修とは別メニューに設定するなど研修方法の見直しを行い、更なる実動性の高い防災リーダーの育成支援を図っていく方針である。	【新規研修内容】鳥取大学教授陣など各分野のエキスパートを講師とした自然・気象災害のしくみからその対策まで防災に関する講座を開設することで、高度の知識・技能を習得し、地域における自主防災活動活性化のために活躍できる人材の養成を図る。（4講座/日×3日間＝全12講座）【開催日】7/28、8/18、9/8【修了見込】100名程度 【女性研修】家庭内備蓄や避難所運営、救急講習など女性に特化した実践的な講義内容（4講座/1日）【開催日】10/6【参加見込】30名程度 【フォローアップ研修】消火器・消火栓取扱研修、防災指導実績報告会など（4講座/1日×2回）【開催日】11/17、11/27【参加見込】300名程度
農業振興課 農政企画課	地域米消費拡大対策事業費（米料理教室）	小学生に米料理の実習を通じて、我が国の食料事情及び伝統的な主食である米の大切さを理解してもらうことで、若年層の米離れを防ぎ、米の消費拡大を図る。	米づくり学童体験農園実施校のうち、希望のあった学校の小学校高学年を対象に米を中心とした調理実習を行う。平成30年度実施計画 25回。	22回実施（17校）、生徒数651名	B	計画をほぼ達成した	平成30年度まで	無し
市民総合相談課	消費生活対策費（消費者啓発出前講座等）	市民の消費生活の安全及び向上を図ることを目的とする。	開催場所：市内各所（開催依頼申込にある会場等） 講座内容：最近の相談事例の紹介や悪質商法の手口とその対策の説明などの出前講座のほか、消団連へ事業委託した消費者寸劇、鳥大落研の協力による消費者落語、啓発パネルによるパネル展示や講演会など 開催回数：年間58回程度	開催回数：年間44回	B	出前講座等は地域からの依頼件数がやや少なかったが、啓発イベント等は計画どおり実施することができた。	実績も踏まえ、現在の目標を引き続き維持するものとする。	開催場所：市内各所（開催依頼申込にある会場等） 講座内容：最近の相談事例の紹介や悪質商法の手口とその対策の説明などの出前講座のほか、消団連へ事業委託した消費者寸劇、鳥大落研の協力による消費者落語、啓発パネルによるパネル展示や講演会など 開催回数：年間59回程度
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座（輝なんせ鳥取による講座） 「再掲」	男女共同参画の視点を生かした安全で安心に暮らすための知識習得と意識の向上を図る	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：17講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：608人（定員479人）	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	今後も多くの方に参加してもらえるよう、引き続き、開催方法の工夫や講座の充実を図っていく。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
経済・雇用戦略課 ★H30～追加	食育アドバイザー派遣事業	小中学生や消費者が、農林水産物や地域の食材を使った料理に対する理解を深めることにより地産地消を推進する。	派遣回数 47件 参加人数 846人	派遣回数 53件 参加人数 861人	A	計画を十分に達成した。（派遣回数達成率112.7%）	引き続き、より多くの団体の派遣制度利用を促し、地元食材を使った料理等に対する理解を深め、地産地消の促進を図る。	派遣回数 50件 参加人数 850人

(4) 福祉、健康に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
男女共同参画課	男女共同参画啓発講座 (輝なんせ鳥取による講座) 「再掲」	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ意識の啓発を図る。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等	開催回数：17講座17回 開催場所：男女共同参画センター等 参加者数：608人(定員479人)	AA	周知等の徹底により目標以上の割合となった。	今後も多くの方に参加してもらえるよう、引き続き、開催方法の工夫や講座の充実を図っていく。	開催場所：男女共同参画センター他 講座内容：男女共同参画基礎講座、いきいき女性塾、わくわく男性塾、いきいき生活塾等
地域福祉課 高齢社会課 (H30～)	社会福祉大会	社会福祉活動の功労者の表彰及び記念講演を開催し、市民の社会福祉活動への意識を高める。	開催場所：鳥取市民会館 開催時期：平成30年11月28日 内容：社会福祉活動功労者の表彰、著名人による記念講演	開催場所：鳥取市民会館 開催時期：平成30年11月28日 内容：社会福祉事業功労者の表彰・感謝・顕彰状贈呈、記念講演 岩佐 まり 「～大切な人が認知症になったらあなたはどうする？～ 若年性アルツハイマーの母と生きる」 参加者人数：800人	A	大会を順調に施行したため	特になし	開催場所：鳥取市民会館 開催時期：令和元年11月28日 内容：社会福祉活動功労者の表彰、著名人による記念講演
中央保健センター	健康教育	広く健康に関する知識を啓発し、寝たきりや壮年期死亡を減少して元気で楽しく暮らせるまちを目指す。	各保健センター、地区公民館等で、生活習慣病予防(健診、食生活、運動習慣等)、心の健康、歯科保健、疾病予防について、医師、保健師、栄養士、健康運動指導士等が講話や実践を行う。	①健康教育(成人・高齢者) 回数：476回、参加者数：延9836人 内容：医師や保健師、栄養士等が生活習慣病予防のための健康づくりや介護予防について講話や実践 ②歯科保健 回数：19回、参加者数：延330人 内容：歯科医師、歯科衛生士に折る地域住民、施設職員等を対象として、口腔と全身疾患の関係・健口体操等の口腔機能向上のための講話や実践 ③心の健康 回数：37回、参加者数：延1206人 内容：医師や保健師等による精神障がいやこころの健康についての講話。ゲートキーパー研修等	B	生活習慣病をはじめ、介護予防・心の健康など、健康づくりに関する健康教育の機会を各地域および全市で取り組むことが出来た。		各保健センター、地区公民館等で、生活習慣病予防(健診、食生活、運動習慣等)、心の健康、歯科保健、疾病予防について、医師、保健師、栄養士、健康運動指導士等が講話や実践を行う。
中央保健センター	病態別教室(糖尿病)	疾病に対する理解を深め病気の進行を少しでも遅くしたり、またはより良い健康状態を維持することを目的として、糖尿病予防教室の開催等を行う。	場所：各保健センター等 対象：健診結果で糖尿病予備群の人、またその家族 ※特定保健指導対象者を除く 回数：中央、各ブロックで設定予定(1日コース、シリーズ開催等) 内容：医師、保健師等による講話(健診結果から自分の健康状態を知る、糖尿病について) 栄養士による講話(食生活について) 健康運動指導士による講話、実践 グループワーク、目標設定等	実施回数：延9回(1日コース、フォローアップ教室) 参加者数：延121人 内容：医師、保健師等による講話(健診結果から自分の健康状態を知る、糖尿病について) 栄養士による講話(食生活について) 健康運動指導士による講話、実践 グループワーク、目標設定等 評価：教室終了後のアンケートから、糖尿病の理解と自分自身の健康状態の把握、予防方法についてほとんどの人が理解できたと回答した。日常生活の中で取り組むことを具体的にグループ間でも共有し、個人の生活改善の目標を設定することが出来た。	B	これまでの健診結果から自身の現在の健康状態を理解し、日常生活の中での改善方法を知ること、生活習慣病予防につなげることが出来た。		場所：各保健センター等 対象：健診結果で糖尿病予備群の人、またその家族 ※特定保健指導対象者を除く 回数：中央、各ブロックで設定予定(1日コース、シリーズ開催等) 内容：医師、保健師等による講話(健診結果から自分の健康状態を知る、糖尿病について) 栄養士による講話(食生活について) 健康運動指導士による講話、実践 グループワーク、目標設定等

(5) リサイクル、ごみ問題等環境に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
水道局	千代川市民一斉清掃	本市水道の水源である千代川の汚染を防止するとともに、市民の水質保全に対する意識の向上を図り、もって安全かつ良質な水道水の供給を確保する。	事業内容：本市最大処理量の浄水場が取水している水源上流の清掃 清掃場所：千代川倉田スポーツ広場及びその周辺(河川敷含む) 実施時期：毎年全国規模で行われる水道週間(6/1～6/7)に合わせて実施 参加人数：300人	6月3日(日)実施。実施回数は年1回。 参加人数：300人 ごみ収集量：約2m3 収集物：廃プラスチック、空き缶、廃タイヤ	A	事業計画の参加人数と同数程度の参加者があり、千代川の汚染防止及び水質保全の意識の向上が図られたと考えられるため。	事業目的に適した事業計画であり、十分な達成度であるため、特に見直しは検討していない。	事業内容：本市最大処理量の浄水場が取水している水源上流の清掃 清掃場所：千代川倉田スポーツ広場及びその周辺(河川敷含む) 実施時期：毎年全国規模で行われる水道週間(6/1～6/7)に合わせて実施 参加人数：300人
教育委員会 福部町分室	各種団体負担金(むらづくり運動事業費、むらづくり大会補助金)	住民による活気があり住みよい地域づくりを促進する。	事業予定なし		-			
協働推進課	鳥取市市民運動推進協議会補助金(全市一斉清掃)	まちを美しく自らの生活環境を清潔にする自主的な美化運動を推進し、豊かでうらおいのある美しいまちづくりの実現をめざす。	未定	春：5/21(日)実施 秋：10/15(日)実施 (国府地域) 7/21(土)実施 <福部地域> 各町内会単位で実施 <河原地域> 各町内会単位で実施 <用瀬地域> 3月、9月実施 <佐治地域> 4月実施 <気高地域> 各町内会単位で実施 <鹿野地域> 11/4(日)実施 <青谷地域> 4月1日(日)実施	A	昨年に引き続き全市域で一斉清掃を行うことができた。	引き続き、美しく住みよいまちづくりのため市民が自主的に清掃美化活動に取り組めるよう広報を強化する。	(鳥取地域) 春：5/19(日)実施 秋：10/20(日)実施 (国府地域) 7/28(日)実施 <福部地域> 各町内会単位で実施 <河原地域> 各町内会単位で実施 <用瀬地域> 3月、9月実施 <佐治地域> 4月～5月実施 <気高地域> 5月、10月実施 <鹿野地域> 11/3日)実施 <青谷地域> 4月1日(月)実施
協働推進課	鳥取市市民運動推進協議会補助金(鳥取砂丘一斉清掃)	鳥取の観光のシンボルである鳥取砂丘をいつまでも美しく後世に残し、全国の観光客に喜んでもらうため、ボランティアを募集し、砂丘の一斉清掃を実施する。	未定	春：4/15(日)実施 秋：雨天中止	A	計画どおり実施できた。		春：4/14(日)予備日4/21(日) 秋：未定





4 学習した成果を活かす仕組みづくりと人材育成

(1) 指導者やリーダー、コーディネーター等の養成

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
地域振興課	鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業	人材養成塾「とっとりふるさと元気塾」を開校し、地域課題等に対し主体的に取り組むことのできる地域のリーダー・実践者を養成する。	①「とっとりふるさと元気塾」の設置・運営 ②テーマ別専門講座および地域別出前養成講座の開催【計15回程度】 ③元気塾スーパーリーダー講座の開催【1回以上】 ④元気塾地域づくり表彰の開催【1回以上】 ⑤全地域を対象とした公開講座の開催（開校式、成果報告会）【各1回】	①テーマ別専門講座 19回 ②地域別出前養成講座 5回 ③スーパーリーダー講座 1回 ④全市公開講座 2回 ⑤元気塾地域づくり表彰式 1回 ⑥リーダー認定者数 28名	AA	テーマ別専門講座、地域別出前養成講座、スーパーリーダー講座において計画を上回る回数の講座を実施したため。	内容がマンネリ化しないよう内容の工夫と併せて、今年度も参加者数が比較的小さい女性や若者向けの講座の開催や、「防災」や「小規模農業」などの地域のニーズが高いテーマ講座も開催し、参加者数を増やしていく。	①「とっとりふるさと元気塾」の設置・運営 ②テーマ別専門講座および地域別出前養成講座の開催【計15回程度】 ③元気塾スーパーリーダー講座の開催【1回以上】 ④元気塾地域づくり表彰の開催【1回以上】 ⑤全地域を対象とした公開講座の開催（開校式、成果報告会）【各1回】

(2) 各種展示、発表会の開催

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	高齢者作品展	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図るため、年に一度、高齢者作品展を開催し、自発的な学習意欲を醸成する。	開催場所：福祉文化会館 内容：日本画、短歌、俳句、生け花、手工芸、陶芸、書道、表装、油絵、写真、木目込み人形、バッグほか	開催日：平成30年10月20日～21日 開催場所：福祉文化会館 内容：日本画、短歌、俳句、生け花、手工芸、陶芸、書道、表装、油絵、写真、軍手人形、バッグほか 出品者数：223人 来場者数：245人	A	来場者数は減少したものの出品者数は増加しており、年に一度の作品展が高齢者の自発的な学習意欲の醸成に寄与していると考えられるため。	開催を継続することにより、高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり、自発的な学習意欲の醸成を図る。	開催場所：福祉文化会館 内容：日本画、短歌、俳句、生け花、手工芸、陶芸、書道、表装、油絵、写真、軍手人形、バッグほか
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	おとしより芸能大会	市内一円から集まった高齢者のグループが歌や踊りを披露し、高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを推進する。（鳥取地域の「おとしより大運動会」と隔年で開催）	開催場所：市文化センター 内容：各参加地区による、歌・寸劇・詩吟・おどり等の芸能発表会	開催場所：市文化センター 参加人数：330人	A	芸能大会を通じ、参加者相互の親睦、生きがいづくりの増進が図れたと考えるため。	引き続き高齢者相互の親睦とともに生きがいづくりと健康増進を図る。	「おとしより芸能大会」と「おとしより大運動会」を隔年で開催しており、平成31年度は「おとしより大運動会」を開催する。
こども家庭課	保育園児童文化祭事業	子どもたちがあそびを通して豊かな体験や友達との輪を広げる。	開催場所：県民文化会館 事業内容：年長児によるステージ演技、保育士によるふれあい遊び等の実施	開催日：10月21日（日） 開催場所：とりぎん文化会館梨花ホール 参加園：鳥取市公私立45園 内容：年長児のステージ発表他 参加者：5歳児の児童約1000人とその家族他	B	当初計画のとおり実施できた。	子どもたちがあそびを通して豊かな体験や友達との輪を広げることを目的に、今後も継続実施する。	開催場所：県民文化会館 事業内容：年長児によるステージ演技、保育士によるふれあい遊び等の実施
文化交流課	新市域文化協会事業支援	佐治町、国府町を除く文化協会の活動の支援を通して鳥取市域以外の文化事業の推進を支援する。	鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、新市域の文化団体（連合体）の組織化のため、研修事業の実施、各種展示会、発表会等開催、会報の発行などの事業を展開する連合体の組織化活動を支援する。交付団体：福部、河原、用瀬、気高、鹿野、青谷の6団体	福部、河原、用瀬、気高、鹿野、青谷の文化団体連合体の組織化活動支援を実施。 補助金実績）福部：70千円、河原：200千円、用瀬：110千円、気高：90千円、鹿野：130千円、青谷：105千円 計705千円	B	新市域の文化団体が行う各事業、活動に対し、計画通り支援を実施。	引き続き、文化団体連合体の組織化や市民による自主的な文化芸術活動を支援する。	鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、新市域の文化団体（連合体）の組織化のため、研修事業の実施、各種展示会、発表会等開催、会報の発行などの事業を展開する連合体の組織化活動を支援する。交付団体：福部、河原、用瀬、気高、鹿野、青谷の6団体
教育委員会 福部町分室	公民館祭開催費（教委福部町分室）	園児から一般の作品を一堂に展示公開し、広く住民に活動を知ってもらう。	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、芸能発表会などを行う。	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、講演、コンサートなどを行った。	A	概ね予定通り実施出来たため	引き続き、園児から一般の作品を一堂に展示公開し、広く住民に活動を知ってもらうため、公民館まつりを開催する	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、芸能発表会などを行う。
協働推進課	公民館祭開催費（鳥取市公民館まつり）	市内61地区公民館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や、練習を重ねた様々な分野の芸能などの1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図ることを目的とする。	11月下旬頃、開催予定	開催日：11月24日（土）、25日（日）開催 開催場所：鳥取市文化センター、文化ホール 事業内容：作品展示会（参加者数1,439人、出品点数2,354点）、芸能発表会（出演団体数14団体、入場者数330人）、工作イベント（参加者数 子ども65人）	B	芸能発表会の出演団体数を調整し時間短縮を図ることができた。ほぼ例年とおりの達成状況だった。	作品展示を周知するため、別の会場でできないか検討する。	11月下旬頃、開催予定
協働推進課	公民館祭・地区文化祭	各地区公民館の活動・事業である公民館祭・地区文化祭を開催し、地域の文化活動とコミュニティの推進を図る。	各地区公民館で実施	各地区公民館で実施	A	計画とおり開催できた。	なし	各地区公民館で実施
教育委員会 河原町分室	河原町文化祭	文化祭を通じて、河原地域の住民が創り出した音楽芸能・芸術文化活動を発表し豊かで潤いのある文化の香りを共有する。さらに、住民相互のふれあいと交流を深め地域文化の向上を図る。	開催期日：平成30年10月26・27・28日 開催場所：河原町コミュニティセンター他 実施内容：作品展示、音楽芸能発表会、バザー、お茶席、寒樓遺墨展 延来場者予定：2,000人	開催期日：平成30年10月26・27・28日 開催場所：河原町コミュニティセンター他 実施内容：作品展示、音楽芸能発表会、バザー、お茶席 延来場者：1,850人	B	音楽芸能発表会の入場者数が前年より300人程度減であり、前年は2日目に講演会を実施したが、当年はなし。また、寒樓遺墨展は実施できなかった。	他イベントと実施時期を合わせるなど、住民の文化祭参加機運を盛り上げる方策を検討する。	開催期日：平成31年10月25・26・27日 開催場所：河原町コミュニティセンター他 実施内容：作品展示、音楽芸能発表会、バザー、お茶席、寒樓遺墨展 延来場者予定：2,000人
中央保健センター	鳥取市民健康ひろば	一人ひとりが元気で楽しく暮らせるまちを目指して策定した「とっとり市民元気プラン2016」の推進することを目的とする	日時：平成30年11月23日（金）11:00～16:00 場所：市民会館 内容：健康相談等の各種コーナー、健康づくり講演会等	日時：平成30年11月23日（金）11:00～16:00 場所：市民会館 内容：健康相談等の各種コーナー、健康づくり講演会等	B	来場者数が前年を下回ったため	開催時期、場所、内容の再検討	日時：令和元年11月24日（日）11:00～16:00 場所：市民会館 内容：健康相談等の各種コーナー、健康づくり講演会等
農業振興課 農政企画課	ふるさとの味祭り事業費（自然のめぐみ感謝祭）	生産者と消費者の交流を促進し、本市の農林水産物に対する消費者の理解を深め、地産地消を推進して農林漁業者の所得向上を図る。	開催場所：鳥取市賀露町「わつたいな」周辺 内容：鳥取藩の伝統料理「イモコン鍋」を軸に、本市で収穫された農林水産物、加工品、手づくり料理の販売等の収穫祭（いなば農産物フェスタ）に参加し、本市農産物のPRと消費者交流を促進する。 来場予定者数：30,000人 開催予定日：10/13,14	開催日：10/13,14 開催場所：鳥取市賀露町「わつたいな」周辺 内容：鳥取藩の伝統料理「イモコン鍋」を軸に、本市で収穫された農林水産物、加工品、手づくり料理の販売等の収穫祭（いなば農産物フェスタ）に参加し、本市農産物のPRと消費者交流を促進した。 来場者数：約35,400人	A	計画通りに開催でき、本市の農産物のPRと消費者交流を促進することができたため	なし	開催場所：鳥取市賀露町「わつたいな」周辺 内容：鳥取藩の伝統料理「イモコン鍋」を軸に、本市で収穫された農林水産物、加工品、手づくり料理の販売等の収穫祭（いなば農産物フェスタ）に参加し、本市農産物のPRと消費者交流を促進する。 来場予定者数：30,000人 開催予定日：10月第2土日
教育委員会 用瀬町分室	用瀬町ふれあいまつり	日ごろの生涯学習の発表の場とするともに、学習情報、生活情報の発信の場として広く市民に提供し、市民一人ひとりの学習意欲を高め、学習活動への参加を促進することで、生涯学習の一層の振興を図る。	第28回生涯学習もちがせふれあいまつり 用瀬町における一年間の生涯学習の成果を発表するイベントを開催。 日時 H30.10.20(土)～10.21日(日)2日間	第28回生涯学習もちがせふれあいまつり 用瀬町における一年間の生涯学習の成果を発表するイベントを開催。従来通り農業部門をパートⅡとして開催。 パートⅠ H30.10.20(土)～10.21日(日)2日間 パートⅡ H30.11.18(日) 参加者2,200人	B	計画を概ね達成した。	他の事業との同時開催により来場者の増加を図る。	第29回生涯学習もちがせふれあいまつり 用瀬町における一年間の生涯学習の成果を発表するイベントを開催。農業部門については、収穫時期の関係により、開催日を分けパートⅡとして実施。 パートⅠ 10下旬(土)～(日)2日間 パートⅡ 11中旬(日)

資料2

気高町地域振興課	気高ときめきまつり	郷土文化の発展と文化水準の向上に資するため、作品展示、芸能発表会を開催することにより、市民の文化に関する意識の高揚を図る。	平成30年11月3日（土）、11月4日（日）開催。 開催場所：気高町農業者トレーニングセンター 実施内容：作品展示、芸能発表、ときめきコンサート、お茶席、屋台村など 来場者：2,400人	B	作品展示、芸能発表会を開催することにより、まちづくりの推進が図れた。地元の貝がら節をテーマとするステージ発表、地元中学生吹奏楽部と吹奏楽グループのコラボ演奏などで盛りあがったイベントとなった。	魅力ある地元の芸能発表の場として内容の充実を図る。	令和元年11月2日（土）、11月3日（日）開催予定。
障がい福祉課	障がい者アート作品展	鳥取市障がい者福祉週間（5/23～29）の関連事業として開催することで、市内の障害福祉サービス事業所や施設などで日頃から芸術活動・創作活動に取り組んでいる障がいのある方の作品を展示	・期間：H30.5/17～31 ・出展団体：7団体 ・会場：鳥取市中央図書館、清流茶屋かわはら道の駅、鳥取市文化センター	A	障がいのある人が制作した作品を展示し、障がいへの理解を深めるとともに、障がいのある人の文化芸術活動を促進することができた。	出展団体や当事者団体と協議を行いながら、次年度の事業内容を決定する。	期間：令和元年5/16～5/30 出展団体：7団体 会場：鳥取文化センター、イオンモール鳥取北、鳥取市中央図書館

(3) ボランティアの育成及び活動の活性化

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
高齢社会課 長寿社会課 ※平成30年～	ボランティアバス運行	市民が社会奉仕活動やその活動に関する研修を行う場合、その利便を供するため、ボランティアバスを運行する。	対象者：市民または市内に事務所などを有する団体（10名以上） 運行時間：午前9時から午後4時（年末年始除く） 運行範囲：鳥取市内 市社会福祉協議会へ事業委託	利用回数：65回 利用人数：816人	B	業務が支障なく遂行できた。	公共交通機関利用促進事業への転換などの検討が必要である。	対象者：市民または市内に事務所などを有する団体（10名以上） 運行時間：午前9時から午後4時（年末年始除く） 運行範囲：鳥取市内 市社会福祉協議会へ事業委託
教育委員会気高町分室	気高スカロップ杯中学生バレーボール選手権大会	中学生に広くバレーボール実践の機会を与え、技術の向上とスポーツマン精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学生を育成することを目的とする。	開催日：平成31年3月未定（土）、（日） 開催場所：気高町農業者トレーニングセンター・青谷町農林漁業者トレーニングセンター 競技方法：1グループ3チームでリーグ戦を行い、各グループの1,2,3位チーム同士で順位決定戦を行う。	開催日：平成31年3月23日（土）、24日（日） 開催場所：気高町農業者トレーニングセンター・青谷町農林漁業者トレーニングセンター 結果：中国、四国、近畿地方から男女各12チームの参加により約500名（選手及び役員等含）で行い、活気ある大会となった。	A	それぞれが持っている力を存分にぶつけ合い、お互いの技術向上にもつながった。	特になし	開催日：令和2年3月未定（土）、（日） 開催場所：気高町農業者トレーニングセンター・青谷町農林漁業者トレーニングセンター 競技方法：1グループ3チームでリーグ戦を行い、各グループの1,2,3位チーム同士で順位決定戦を行う。
観光戦略課	観光ボランティアガイド事業	観光ガイドを養成して、観光客に鳥取市の魅力をPRし、おもてなしの心による観光振興を図る。	観光ボランティアガイド団体の活動支援（ガイド活動、まちめぐりガイドマップの作成、観光ガイドの養成）	観光ガイド講師「きなんせえ家」の設置。 観光ボランティアガイド団体の活動支援及び観光ガイド向け現地研修の実施。	A	計画通り実施されたため。	ボランティアガイド団体活動支援の充実及び実態の把握。	観光ボランティアガイド団体の活動支援（ガイド活動、まちめぐりガイドマップの作成、観光ガイドの養成）
観光戦略課	民間登録サポーター運営支援事業【国際観光】	国際観光客サポートセンターの開設に伴い、鳥取市内の観光地や交通機関の通訳ガイド等をボランティアで行う国際民間サポーターの登録拡充と活動支援を行う。	国際観光客サポートセンターが実施する国際観光客民間サポーター運営事業を支援する。	活動回数 年69回 定例会 年5回	C	活動回数が昨年度と比較し減少しているため	登録者数の拡充を図る	国際観光客サポートセンターが実施する国際観光客民間サポーター運営事業を支援する。

(4) 人材登録制度の充実

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
観光戦略課	民間登録サポーター運営支援事業【再掲】	国際観光客サポートセンターの開設に伴い、鳥取市内の観光地や交通機関の通訳ガイド等をボランティアで行う国際民間サポーターの登録拡充と活動支援を行う。	国際観光客サポートセンターが実施する国際観光客民間サポーター運営事業を支援する。	活動回数 年69回 定例会 年5回	C	活動回数が昨年度と比較し減少しているため	登録者数の拡充を図る	国際観光客サポートセンターが実施する国際観光客民間サポーター運営事業を支援する。
生涯学習・スポーツ課	高齢者生きがい促進総合事業（高齢者人材活用事業）	優れた知識、技能を有する高齢者を募り、講師あるいは助言者として、各地域で開催される講演会等に参加・派遣を行う。	派遣回数：9回 講座参加者数：800人	派遣回数：6回 講座参加者数：688人	C	当初計画より回数・参加者数ともに少なかつたため。	利活用が増えるよう制度の見直し、広報のさらなる強化を行う。	派遣回数：10回 参加者数：800人

(5) その他（上記項目に該当しない事業）

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
教育委員会河原町分室	河原地域市民スポーツの日	市民の健康増進及び生涯スポーツの普及拡大を願い、子どもから高齢者までがスポーツに楽しむ日として定着を図る。	グラウンドゴルフ大会 開催期日：平成30年6月2日（土） 開催場所：鳥取市河原町山手グラウンドゴルフ場	グラウンドゴルフ大会 開催期日：平成30年6月2日（土） 開催場所：鳥取市河原町山手グラウンドゴルフ場 131名参加	B	参加者の増加	大会運営の委託など、あり方検討	グラウンドゴルフ大会 開催期日：令和元年6月1日 開催場所：鳥取市河原町山手グラウンドゴルフ場

5 地域社会の課題解決・教育力向上と家庭教育の強化

資料2

(1) 地域が抱える課題解決に向けた学習機会の提供

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	地区公民館事業（特色ある公民館活動事業）【再掲】	地域の特性を踏まえて、特性を活かしながら、公民館独自の発想で事業を企画・実施する。	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催	全62地区公民館（分館1館含む）で実施。 実施回数：488回 延べ参加者数：7,588人	A	各地区が地域性を取り入れた計画を行い、実施できたため。	各地区がそれぞれ事業目的を達成できるよう必要に応じて支援していく。	地区公民館において特色ある公民館活動事業の開催

(2) 家庭、地域における子育てに関する学習の推進及び情報の提供

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
学校教育課	学力向上推進事業（基礎学力定着支援事業）	小中学校の児童生徒を対象に、学校と地域の基礎学力定着支援者が連携し、放課後及び長期休業を利用した学習活動を実施し、基礎学力の定着を図る。	全小・中・義務教育学校に基礎学力定着支援者を年間50回活用できる予算を配分し、放課後及び長期休業を利用して学習活動を実施する。全校で実施する。	全小・中・義務教育学校に基礎学力定着支援者を年間50回活用できる予算を配分し、放課後及び長期休業を利用して学習活動を実施する。全校で実施した。	A	全小・中・義務教育学校の児童生徒を対象に、学校と地域の基礎学力定着支援者が連携し、放課後及び長期休業を利用した学習活動を実施し、基礎学力の定着を図る。	実施計画のとおり、全小・中・義務教育学校で実施する。	全小・中・義務教育学校に基礎学力定着支援者を年間50回活用できる予算を配分し、放課後及び長期休業を利用して学習活動を実施する。全校で実施する。
学校教育課	地域で育む学校支援ボランティア事業	小中学校に地域ボランティアを配置し、生活支援や学習支援、環境整備などの支援活動を行い、学校と地域が協働し児童生徒へのきめ細やかな対応の充実や安心安全な学校生活を実現する。	小・中・義務教育学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアを活用した学習支援・環境整備、登下校の見守り等の活動を実施する。 ・参加団体数：20団体 ・参加ボランティア数：延べ8,000人 ・コーディネーター配置：20人 ・実施学校：小学校18校、中学校2校	小・中・義務教育学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアを活用した学習支援・環境整備、登下校の見守り等の活動を実施した。 ・参加団体数：20団体 ・参加ボランティア数：延べ25,000人 ・コーディネーター配置：20人 ・実施学校：小学校16校、中学校4校	A	小・中・義務教育学校に地域ボランティアを配置し、生活支援や学習支援、環境整備などの支援活動を行い、学校と地域が協働し児童生徒へのきめ細やかな対応の充実や安心安全な学校生活を実現する。	実施計画のとおり、小・中学校で実施する。	小・中・義務教育学校にコーディネーターを配置し、地域ボランティアを活用した学習支援・環境整備、登下校の見守り等の活動を実施する。 ・参加団体数：12団体 ・参加ボランティア数：延べ15,000人 ・コーディネーター配置：12人 ・実施学校：小学校9校、中学校3校
生涯学習・スポーツ課	家庭教育学級	子育てに関する助言を行う家庭教育相談員の資質向上と会員相互の情報交換を行い、子育て相談を行う。			-			
生涯学習・スポーツ課	子育て講座（家庭教育支援事業）	家庭教育に関する学習機会を提供することにより、家庭の教育力の向上を図る。	幼児期講座 8回 小学校入学前講座 44回（全小学校）	幼児期講座 12回 小学校入学前講座 44回（全小学校）	AA	市内全小学校にて就学時健診や学校説明会といった多くの保護者の参加が見込まれる期日に講座を開催することによって、より多くの家庭の教育力の向上を推進できたと考えられるため。	幼児期講座の開催数の増加につなげられるよう運用について見直しを検討する他、広報等に努めていく。	幼児期講座 15回 小学校入学前講座 44回（全小学校）
鳥取砂丘・ジオパーク推進課	山陰海岸ジオパーク校外学習支援事業	地域資源を活かした体験学習を実施することで、地質的な学習はもとより、歴史、文化、気候風土など地域の特徴ある魅力を学び、郷土愛を育てる。	本市小学校を対象とし、ゲストティーチャー派遣、校外学習借上げバス代の支援を行う。	校外学習借上げバス代支援：全44校中40校（2,826人）	A	山陰海岸ジオパーク域内における府県市町で、小学校を対象に現地校外学習を実施している自治体は少なく、学校からも好評を得ている。	市立以外の小学校等にも、ジオパークの理解を深められるよう支援する。	本市小学校を対象とし、ゲストティーチャー派遣、校外学習借上げバス代の支援を行う。

(3) 学校内外での安全確保など子どもたちを育む地域ボランティアの育成

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	青年団体育成事業（青少年育成鳥取市民会議補助）	青少年問題の解決を図るため	補助金交付予定：各地区協議会 39地区 明るいまちづくりモデル地区：2地区	補助金交付先：各地区協議会 38地区 明るいまちづくりモデル地区：2地区	A	各地区協議会に補助金を交付することにより各地区の青少年健全育成のための活動を支援することができたと考えられるため。	今後も各地区の青少年健全育成のため補助金を交付し活動を支援していく。	補助金交付予定：各地区協議会 39地区 明るいまちづくりモデル地区：2地区

(4) PTAや子ども会等の子どもたちを取り巻く地域団体の組織強化と活動の充実

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	PTA育成事業	PTA活動の指導者を養成するため小・中学校PTA連合会と連携して、研修会を開催する。	感謝状贈呈：小、中学校PTA連合会	感謝状贈呈 小、中学校PTA連合会計44人（小学校：28人、中学校：16人）優良PTA文部科学大臣表彰受賞（若葉台小学校愛育会）	A	PTA活動の振興に功勞のあった方へ感謝状を贈呈し、PTAの健全な育成、発展に努めた。優秀な実績を上げているPTAを文部科学大臣表彰へ推薦、受賞した。	PTA連合会事務における人材育成および調査研究活動を支援するため、平成31年度から鳥取市PTA連合会補助金を制定する。	感謝状贈呈：小、中学校PTA連合会 PTA連合会補助金

(5) 地域における子ども達の体験活動機会の充実

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
学校教育課	地域で学ぶ職場体験活動事業	中学生が地域の中で様々な社会体験活動を行うことで、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうとする意欲、態度を醸成する。また、地域社会で生徒を育むという意識の醸成を図る。	中学2年生、義務教育学校8年生全員が、学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、各学校で設定した連続する3～5日間、地域の事業所や施設等で職場体験活動を行う。活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために、推進協議会を設置する。	中学校2年生、義務教育学校の8年生全員が、学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、各学校で設定した連続する3～5日間、地域の事業所や施設等で職場体験活動を行う。活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために、推進協議会を設置する。	A	中学生が地域の中で様々な社会体験活動を行うことで、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうとする意欲、態度を醸成する。また、地域社会全体で生徒を育むという意識の高揚を図る。	実施計画のとおり、全中学2年生・義務教育学校8年生で実施する。	中学2年生、義務教育学校8年生全員が、学校ごとに数名ずつのグループに分かれ、各学校で設定した連続する3～5日間、地域の事業所や施設等で職場体験活動を行う。活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために、推進協議会を設置する。
学校教育課	中山間地域ふるさと体験活動支援事業	小学校の児童が農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性と社会性を育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人の温かさに触れることにより、ふるさとを想うところを育む。	13小学校において、佐治町内での1泊2日および2泊3日の農山村体験活動を実施する。 ・参加予定児童数 1,122人	13小学校において、佐治町内での1泊2日および2泊3日の農山村体験活動を実施した。 ・参加児童数 641名	A	小学校の児童が農山村での生活体験を通して、豊かな人間性と社会性を育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人の温かさに触れることにより、故郷を思う心を育む。	実施計画のとおり、小・義務教育学校（前期課程）で実施する。	17小学校において、佐治町内での1泊2日および2泊3日の農山村体験活動を実施する。 ・参加予定児童数 748人
学校教育課	放課後子ども教室推進事業	放課後の小学校児童の安全で健康的な居場所を確保と、勉強やスポーツ・文化活動等を通じて地域住民との交流を図り、子ども達が地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。	神戸・明治・東郷小学校区において、地区公民館を拠点に放課後子ども教室を開設。地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として参画し、勉強やスポーツ・文化活動等を実施する。	神戸・明治・東郷・久松小学校区において、地区公民館を拠点に放課後子ども教室を開設。地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として参画し、勉強やスポーツ・文化活動等を実施した。	A	放課後の小学校児童の安全で健康的な居場所を確保と、勉強やスポーツ・文化活動等を通じて地域住民との交流を図り、子ども達が地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進することができたと考えられるため。	午前5時間制を導入している学校においても、必要があれば開設する。	神戸・明治・東郷・久松小学校区において、地区公民館・学校を拠点に放課後子ども教室を開設。地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として参画し、勉強やスポーツ・文化活動等を実施する。
生涯学習・スポーツ課	小・中学生ものづくり人材育成事業	ものづくりの体験を通じて、将来の鳥取市を担う人材を育む。小・中学校や公民館等からの要望を受け、鳥取市がアドバイザーを派遣する。	ものづくりアドバイザー活動 派遣回数 60件	派遣回数50回 派遣人数69人	AA	派遣募集の広報が行き届き、派遣枠が埋まるペースも向上し、事業の充実がうかがえた。	年度通して様々な団体にりようしていただくよう制度の見直し、広報の徹底を行う。	ものづくりアドバイザー活動 派遣回数 60件
生涯学習・スポーツ課	ものづくり道場推進事業	地域の指導者の発掘・養成を行い、ものづくり人的ネットワークの拡充を図る。そして、地域ぐるみで地域の科学・技術や産業を支える候補人材の養成を行う。	ものづくり道場指導者養成講座 ものづくりカフェ ものづくりイベント ファブラボととりの普及・拡大	ものづくり道場指導者養成講座 東部 1回開催、受講者37名 ものづくりカフェ 東部20回開催、参加者284名 ものづくりイベント 東部6回開催、参加者 1,137名	A	カフェ活動の増加、指導者の育成講座の開催も行い、計画通り事業を実施した。イベントは縮小させ、参加人数は減少したが、規模に対する参加人数の充実がうかがえた。	指導者育成を続けることで、ものづくり指導の幅を持たせ、多くの子どもたちに様々なものづくりを通じた学びの機会を提供していく。	ものづくり道場指導者養成講座 ものづくりカフェ ものづくりイベント ファブラボととりの普及・拡大
生涯学習・スポーツ課	青年のイベント助成事業	健全な青少年の育成と青年組織の活性化を図る。	青少年を対象とした事業を実施する団体に活動費の一部の補助を行う。 予算：80,000円	助成団体0団体	-	広報を行ったものの応募がなかった。	青少年育成市民会議と連携し、さらなる広報期間を延ばし強化に努める等、健全な青少年の育成と青年組織の活性化に努めていく。	青少年を対象とした事業を実施する団体に活動費の一部の補助を行う。 予算：80,000円

(6) その他（上記項目に該当しない事業）

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	少年スポーツ指導者研修会費	少年スポーツクラブ指導者を対象とした研修会を開催。技術のみならず、心と体の成長に即した議題で開催し、スポーツを通じた子供たちの健全育成を目指す。	少年の心と体の成長に即した議題で、指導者や保護者を対象とした研修会を開催。スポーツを通じた子供たちの健全育成の啓発を行う。	研修会を1回開催（東部スポーツ少年団と共催） 開催日：平成31年3月24日（日）10：00～12：30 演題：「栄養学とコンディショニング」 講師：横山 智 氏 大塚製薬株式会社 広島支店 参加者：21名	C	昨年より参加者が減少したため	継続実施	少年の心と体の成長に即した議題で、指導者や保護者を対象とした研修会等を開催。スポーツを通じた子供たちの健全育成の啓発を行う。
さじアストロパーク	出張観察会	公民館、小・中学校、子ども会等の住民に対し、望遠鏡を持参しての天体観察会をおこなう。103cm望遠鏡でとらえた天体画像等を活用した宇宙や星の話をおこなう。	公民館、小・中学校、子ども会等の要望により天体望遠鏡を持参して天体観察会をおこなう。 ①工作教室等 実施回数 4回、参加人数 308人 ②講演・講座等 実施回数 23回、508人 ③その他 実施回数 12回、参加人数 1,124人	①天体望遠鏡を持参しての星の観察会 実施回数 17回、参加人数 592人 ②工作教室等 実施回数 4回、参加人数 308人 ③講演・講座等 実施回数 23回、508人 ④その他 実施回数 12回、参加人数 1,124人	B	昨年を上回る問合せや依頼・申込みがあった。しかし、さじアストロパークの来館数の増加に伴う職員配置をおこなわざるをえなくなり、出張観察会対応者を確保することができない日が多く、お断りをたくさんおこなった。	市民からの需要増の傾向は今後も続くことから、対応職員の確保をおこなうなど、可能な限り対応できる体制を確保したい。	公民館、小・中学校、子ども会等の要望により天体望遠鏡を持参して天体観察会をおこなう。103cm望遠鏡でとらえた天体画像等を活用した宇宙や星の話をおこなう。 工作教室、実験教室、講演会等の要望にも対応する。
学校教育課	放課後児童クラブ	昼間保護者が就労のため家にいない小学校児童を放課後預かり、適切な遊び及び生活の場を与えることで健全育成を図る。	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。 62クラブ	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。 クラブ数62クラブ	A	昼間保護者が就労のため家にいない小学校児童を放課後預かり、適切な遊び及び生活の場を与える環境が図ることができていると考えるため。	年々増加する放課後児童クラブについて、運営形態を検討することで、保護者会等の負担軽減を図る。	小学校区単位で開設している放課後児童クラブを、保護者会やNPO法人に委託し運営する。（67クラブ） また、運営形態の検討を行う。
教育委員会用瀬町分室	青少年教育振興事業	青少年教育に関わる情報を提供するとともに、市民の要望に応えた講演会、研修会等を実施する。また、子ども会の活動強化とそれを支えるリーダーの育成を行い青少年教育の充実を図る。	子どもと保護者を含む子ども会活動の活性化及びその他の青少年健全育成活動。 ・野外活動：9月・3月 水辺の楽校広場 ・子どもまつり：10月21日 創作活動等 ・青少年育成研修会：2月中旬 講演会	子どもと保護者を含む子ども会活動の活性化及びその他の青少年健全育成活動。 ・野外活動：10月14日水辺の楽校広場 ・子どもまつり：10月21日 創作活動等 ・青少年育成研修会：3月3日 講演会	B	概ね計画通りに実施し目的を達成したが、研修会の参加者が減少傾向にある。	内容を検討を加えながら継続実施。	子どもと保護者を含む子ども会活動の活性化及びその他の青少年健全育成活動。 ・野外活動：9月末水辺の楽校広場 ・子どもまつり：10月 創作活動等
生涯学習・スポーツ課	子どもフェスティバル開催運営事業	子どもの健全育成と福祉増進に寄与するため	第23回子どもフェスティバル 日時：平成30年10月 場所：とっとり出合いの森公園 内容：遊びのコーナーなど	第23回子どもフェスティバル 日時：平成30年10月14日（日） 10：30～15：00 場所：とっとり出合いの森公園 内容：遊びのコーナーなど 参加者数：約400人	A	天気にも恵まれ、たくさんの参加者を集められ、野外活動や遊びを通じて子どもたちの豊かな心を育む活動ができ、支援体制の充実を図ることができた。	継続実施	第24回子どもフェスティバル 日時：令和元年10月 場所：とっとり出合いの森公園 内容：遊びのコーナーなど
生涯学習・スポーツ課	少年愛護センター運営事業	非行の未然防止と意識啓発を通して青少年の健全育成を図る。	補導員人数 267人 補導予定回数 240回 少年補導員、各店舗、各学校へのアンケート調査による評価の導入	補導員人数 259人、補導実施回数 198回、従事した補導員の延べ人数 1,033人 補導件数 2,078件、相談件数 15件	B	補導予定回数は下回ったものの、多くの補導員の協力により概ね計画通り実施できた。	優しい声かけを心掛けた巡回パトロールを実施し、市内の青少年との信頼関係を構築するとともに関係機関との連携を深め、情報共有を行う。	補導員人数 265人 補導予定回数 220回

6 伝統文化・芸能・芸術の学びを通じた継承及び活用と振興

(1) 伝統芸能や地域に伝わる技能などの保存・伝承・発信のための取り組み

資料2

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
教育委員会 佐治町分室	佐治谷ばなし 保存伝承事業	鳥取市指定文化財である佐治谷話の保存伝承を目的とする。	佐治谷話の保存伝承のため、佐治歴史民俗資料館「民話の館」にて、佐治谷話の語りの会等の実施するとともに、地域の民俗行事の「庚申待」等を実施する。とりわけ、後継者の育成にも力を入れる。	佐治谷話の保存伝承のため、佐治歴史民俗資料館「民話の館」にて、佐治谷話の語りの会等の実施するとともに、地域の民俗行事の「庚申待」等を実施する。 ①佐治谷話保存伝承のための定例会を実施：月1回 ②佐治谷話の語り 民話の館等での求めに応じての民話語り 口演回数：33回 口演話数：133話 語り部数：61名 聞き手数：1,148名 ③庚申待(民俗行事)3回開催 平成30年4月5日(月)・11月14日(火)・平成31年3月8日(水) ④民俗行事 3回開催 ・七草粥 平成31年1月8日(火) ・節分1月31日(木) ・桃の節句3月5日(火) ⑤他団体・イベントなどへの参加・交流 佐治ふるさと祭り、鳥取県民話サークル連合会、とりアート2018 ⑥さじ民話会発足20周年記念誌作成委員会の開催	B	事業実施については、庚申待行事も年3回実施し、概ね計画どおり順調に実施できた。しかし、昨年度に比べ、口演回数、口演話数、聞き手数が減少となったため「B」判定とした。	語り部の高齢化が著しく、新たな語り部が育成できていない現状があるので、佐治谷話の語りはもとより後継者の育成に力を入れていきたい。	佐治谷話の保存伝承のため、佐治歴史民俗資料館「民話の館」にて、佐治谷話の語りの会等の実施するとともに、地域の民俗行事の「庚申待」等を実施する。とりわけ、後継者の育成にも力を入れる。
教育委員会 佐治町分室	さじ谷昔語り (昔のさまざまな生活や手仕事について学ぶ)	温故知新「佐治町の古きをたずねて新しくを知る」身近な昔のさまざまな生活や手仕事を学ぶことにより、貴重な伝統工芸などの製作技術の保存伝承を図り、郷土理解と次世代への語り継ぎを目的とする。	①国登録有形民俗文化財「佐治の板笠」の保存伝承並びに、後継者育成、地域特産品化を目標とした講座(教室の開催)を開催する。佐治町の古老より、さまざまな郷土の昔の手仕事や生活を学び、郷土理解と次代への語り継ぎを図る講座を開催。	①国登録有形民俗文化財「佐治の板笠」の保存伝承並びに、後継者育成、地域特産品化を目標とした講座(教室の開催)を実施するため、材料の選定作業等ができなかった。 講師等の都合により、教室については未実施。 ②佐治町の古老より、さまざまな郷土の昔の手仕事や生活を学び、郷土理解と次代への語り継ぎを図る講座の開催はできなかったが、東京からの来訪者があり、古老の指導のもと小さいながらも板傘の制作を行いました。	D	「佐治の板傘」の材料として使用しやすい「トウカエデ」「ウリノキ」を探すのが困難になってきている現状がある。また、原木の確保が難しいため、笠木を作るための「杓」作業の習得ができない現状です。また、講師等の都合により、教室については未実施のため「D」判定とした。	材料の確保が困難な状況になってきているが、国登録有形民俗文化財の保存・伝承のため、後継者の育成、材料の確保に注力したい。	①国登録有形民俗文化財「佐治の板笠」の保存伝承並びに、後継者育成、地域特産品化を目標とした講座(教室の開催)を開催する。 ②佐治町の古老より、さまざまな郷土の昔の手仕事や生活を学び、郷土理解と次代への語り継ぎを図る講座を開催。
教育委員会 佐治町分室	ふるさとの歴史講座	郷土の歴史と文化を学び、郷土理解と次世代への語り継ぐことを目的とする。	11年目となる「ふるさとの歴史講座」佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等について講座を年間6回程度開催する。新規参加者のための入門的な講座の開催。	11年目となる「ふるさとの歴史講座」佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等については講師の都合により講座を実施することができませんでした。	E	当初計画どおり実施できなかったため、「E」判定とした。	11年を経過し、参加者の固定化が進んでいるため、新たな参加者を獲得する工夫が必要となってきている。新規参加者のための入門的な講座の開催も検討する必要がある。	佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等について講座を年間4回程度開催する。新規参加者のための入門的な講座の開催。
教育委員会 福部町分室	公民館祭開催費(教委福部町分室)	園児から一般の作品を一堂に展示公開し、広く住民に活動を知ってもらおう。	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、芸能発表会などを行う。	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、講演、コンサートなどを行った。	A	概ね予定通り実施出来たため	引き続き、園児から一般の作品を一堂に展示公開し、広く住民に活動を知ってもらおうため、公民館まつりを開催する	公民館まつりの中で、園児・児童・生徒・一般の作品展示、芸能発表会などを行う。
気高町地域 振興課	睦逢うぐい突きまつり	大塚池に伝わる漁法「うぐい突き」を地域の伝統行事として伝承することで、地域住民の親睦を深め、観光客の誘致・観光振興を図る。	平成30年9月30日(日)開催予定	4月18日(水)フナの放流 参加者：約40人 10月6日(土)「逢坂うぐい突きまつり」 参加者：約200人	B	逢坂小学校児童がフナ約50匹を放流したり、うぐい突き保存会による漁法の実演やうぐい突きを体験したりと、伝統漁法の継承が図れた。	保存会の会員の拡充とともに、イベントを盛り上げ、集落外からの参加者をさらに呼び込めるよう工夫していく必要がある。	令和元年10月6日(日)開催予定
観光戦略課	岩国祭り派遣事業/姫路お城まつり派遣事業【再掲】	本市の郷土芸能「しゃんしゃん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝及び姉妹都市岩国市、姫路市との交流を深める。(岩国市派遣事業は隔年で事業実施)	岩国まつり、姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん傘踊り連を派遣。	岩国まつり、姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん鈴の音大使と鳥取市観光協会連を派遣し、本市の観光PRを実施。	A	岩国市民、姫路市民をはじめ多くの観光客に観覧していただき、鳥取市のPRを十分に実施することができた。	継続して実施していく。	姫路お城まつりで行われるパレードにしゃんしゃん傘踊り連を派遣。
国府町地域 振興課	大伴家持大賞短歌募集事業	因幡国司大伴家持にちなみ日本全国から短歌を募集・表彰し、地域文化の継承と振興を図る。	期日：10月21日(日) 会場：国府町コミュニティセンター 短歌募集テーマ「新」を行い、大伴家持大賞として表彰式を行う。事前に募集した短歌を、大伴家持大賞短歌講座として会場で公開講評を行う。	期日：10月21日(日) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 大伴家持生誕1300年記念事業とも連携を図り、短歌募集テーマ「新」を行い、大伴家持大賞として表彰式を行った。	A	例年と同数程度の短歌が応募され、計画はおおむね達成できた。	国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	期日：10月19日(土) 会場：国府町コミュニティセンター 短歌募集を行い、大伴家持大賞として表彰式を行う。短歌をテーマとした講演を行う。
国府町地域 振興課	万葉集朗唱の会開催事業	万葉集を編纂した大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだことに因んで朗唱を行う。広く参加者を募り、万葉歌を朗唱することによって万葉集への理解や親しみを深める。	期日：10月21日(日) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 大伴家持が詠んだ万葉集470余首を、万葉衣装を着て自由に朗唱する。同時開催として、曲水の宴、こどもパレード万葉茶席、地産地消出店コーナーなど。	期日：10月21日(日) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 大伴家持生誕1300年記念事業とも連携を図り、大伴家持が詠んだ万葉集470余首を、万葉衣装を着て自由に朗唱を行った。同時開催として、曲水の宴、こどもパレード万葉茶席などを開催した。	AA	例年以上の参加者があり、計画は十分に達成できた。	国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	期日：10月20日(日) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 大伴家持が詠んだ万葉集470余首を、万葉衣装を着て自由に朗唱する。同時開催として、曲水の宴、こどもパレード万葉茶席、地産地消出店コーナーなど。
国府町地域 振興課	因幡の傘踊りの祭典開催事業	鳥取県内、兵庫県但馬地方等の傘踊り団体が一堂に会し、踊りの披露と互いの技術の向上を目指すとともに、来客者の関心・知識を深めていただき傘踊りの普及と発展を図る。	期日：8月18日(土) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 近隣町村からの各団体、地元小中学生による傘踊りの披露。手笠踊りの披露。因幡の傘踊り体験コーナー。特産品の出店。	期日：8月18日(土) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 近隣町村からの各団体、地元小中学生による傘踊り、手笠踊りを披露した。また、因幡の傘踊り体験コーナーなどを開催した。	A	例年並みの参加者があり、計画は十分おおむね達成できた。	国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	期日：8月24日(土) 会場：因幡万葉歴史館 伝承館 近隣町村からの各団体、地元小中学生による傘踊りの披露。手笠踊りの披露。因幡の傘踊り体験コーナー。特産品の出店。

文化交流課	伝統芸能保存用具整備事業	伝統芸能を保存・伝承、活性化しようと地域で保存会を結成し、伝統芸能活動に取り組んでいる団体に対して助成を行うことにより、その取り組みを支援する。	保存会3～4団体に対して助成する。	中井部落が実施する麒麟獅子舞の太鼓の修繕及びふくべ砂神太鼓実行委員会が実施する和太鼓の修繕に対し助成。 補助金実績) 中井部落: 283千円、ふくべ砂神太鼓: 45千円	B	麒麟獅子舞の保存・継承および和太鼓の普及啓発等に取り組む団体に対し、計画通りに支援を実施。	引き続き、地域の伝統に培われた文化芸術の保存、継承に必要な支援を行う。	保存会3～4団体に対して助成する。
生涯学習・スポーツ課	青年団体育成事業(青少年伝統芸能等継承活動支援事業)	地域への誇りと連帯感を深めるとともに、ふるさとを発展させる主役となり活躍する人づくりを進める。	第54回しゃんしゃん祭り 日: 平成30年8月14日(火) 参加者: 鳥取市子ども会連合会 12地区 約400人	第54回しゃんしゃん祭り 日: 平成30年8月14日(火) 参加者: 鳥取市子ども会連合会 11地区 262人	A	市内11地区の子ども会連合会の参加により多くの子どもたちが参加し、しゃんしゃん傘踊りの練習、祭りへの参加を通じ地域の伝統芸能に触れる機会となった。	継続実施	第55回しゃんしゃん祭り 日: 令和元年8月14日(水) 参加者: 鳥取市子ども会連合会 12地区 約400人
用瀬町産業建設課	用瀬町流しびな行事	用瀬に古くから伝わる流しびな行事を通して、用瀬町地域の文化と伝統を継承し地域の活性化を図る。	開催場所: 小学校等 学習内容: 流しびな制作体験、流しびなの歴史の学習	開催場所: 小学校等 学習内容: 流しびな制作体験、流しびな寿司制作体験、流しびなの歴史の学習 開催日: 平成30年4月18日(水) ひな流し 参加者: 小学生全学年	AA	計画より多くの体験事業が学習できたため	小学校が主体となって開催する事業として継続	
青谷町地域振興課	青谷地域にぎわい創出事業 青谷因州和紙産地強化事業	国の伝統的工芸品「因州和紙」の伝統技術の継承し地域の活性化を図る	因州和紙産地である日置地区を中心に、手すき和紙製作技術体験セミナーの開催、各種イベントへのPR ブース出展、因州和紙フェスタ開催	30.6.3 「あおいち」でPRブース出店 30.8.19 地産地消フェアでPRブース出展 30.9.2 「あおいち」でPRブース出店 30.10.27 文房四宝まつりでPRブース出展 30.11.11 因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭開催(あおや和紙工房・日置体育館) 30.12.15 イルミネーション点灯式 和紙ランプオブジェ展示、和紙灯籠展示(青高作)&PR 31.1.6 手漉き和紙を使った書初めイベント 31.3.10 椿・三桎植え付けイベント	A	町外のイベントにも参加し、因州和紙のPRを行うことができた。 和紙フェスタは天候に恵まれ、昨年を大きく上回る来場者で盛況となり、たくさんの方に因州和紙と地元日置地区の特産品等のPRができた。	イベントでのPRは、天候に左右されることも多いが、引き続き、伝統工芸や地域に伝わる技能などの保存・伝承・発信に努めていく	因州和紙産地である日置地区を中心に、手すき和紙製作技術体験セミナーの開催や、各種イベントへのPR ブース出展、因州和紙フェスタ開催

(2) 文化財への意識高揚に関する学習の推進

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成29年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
文化財課	埋蔵文化財体験・活用事業 (こども考古学教室)	市内の小学校に出向き、火起こし体験、勾玉づくり、古代米栽培等の体験活動を通して文化財に対する認識・理解を深めるとともに、文化財愛護の心を育てる。	市内の小学校に出向き、考古学に関する授業を行い、火起こし体験、勾玉づくり、古代米栽培等の体験活動を実施する。	市内の小学校37校に出向き、考古学に関する授業を行い、火起こし体験、勾玉づくり等を行った。青谷小学校を対象に古代米栽培体験活動を実施した。	C	実施した学校数は前年と同様であったため	学校や地域の希望に沿った授業内容の検討や学校へ聞き取り等を行い、ニーズの掘り起こしを行う。	市内の小学校に出向き、考古学に関する授業を行い、火起こし体験、勾玉づくり、古代米栽培等の体験活動を実施する。
文化財課	埋蔵文化財体験・活用事業 (文化財公開事業)	国史跡「梶山古墳」などの文化財を一般公開することによって、郷土の歴史・文化への理解を高めながら、文化財愛護精神の高揚を図る。	国史跡「梶山古墳」の壁画一般公開、国史跡「栃本庵寺跡」の一般公開、国重要文化財「旧美敷水源地道施設」の特別公開、国史跡「鳥取城跡附太閤ケ平」の見学会及びフォーラム等を開催する。	国史跡梶山古墳一般公開実施 開催日: 10月6～7日 参加者: 200名 国史跡栃本庵寺跡特別公開実施 開催日: 10月6日 参加者: 50名 国重要文化財美敷水源地道施設グランドオープン記念イベント 開催日: 10月27日 参加者: 600名 鳥取城フォーラム 開催日: 3月23日(土) 参加者: 300名	AA	各イベントとも前年度より来場者が多く、盛況であったため	引き続きイベントの内容の充実を図る。	国史跡「梶山古墳」の壁画一般公開、国史跡「栃本庵寺跡」の一般公開、国重要文化財「旧美敷水源地道施設」の特別公開、国史跡「鳥取城跡附太閤ケ平」の見学会及びフォーラム等を開催する。
教育委員会 佐治町分室	ふるさとの歴史講座	郷土の歴史と文化を学び、郷土理解と次世代への語り継ぐことを目的とする。	11年目となる「ふるさとの歴史講座」佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等について講座を年間6回程度開催する。 新規参加者のための入門的な講座の開催。	11年目となる「ふるさとの歴史講座」佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等については講師の都合により講座を実施することができませんでした。	E	当初計画どおり実施できなかったため、「E」判定とした。	11年を経過し、参加者の固定化が進んでいるため、新たな参加者を獲得する工夫が必要となってきている。新規参加者のための入門的な講座の開催も検討する必要がある。	佐治町の貴重な歴史や文化を守り、後世に残していくため佐治町の歴史・文化等について講座を年間4回程度開催する。 新規参加者のための入門的な講座の開催。
生活環境課	名木・古木観察会費	自然保護及び環境保全の重要性について再認識していただくため、春・秋2回市内8か所程度の市指定保存樹木や優れた自然の観察を行う。	開催場所: 市指定保存樹木など8か所程度 内容: 春・秋に市報で参加者(約20名)を募集し、講師による現地説明を行う。	春季観察会参加者13名、秋季観察会参加者17名。	B	アンケート結果より、参加者の満足度は高い。しかし、春季・秋期観察会ともに定員を下回っている為。	ルートの見直しや周知方法の工夫を行い、参加者維持を目指す。	開催場所: 市指定保存樹木など8か所程度 内容: 秋に市報で参加者(約20名)を募集し、講師による現地説明を行う。

(3) 市民が自主的に行う文化芸術活動の支援と施設や環境の整備

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
鹿野町地域振興課	町民音楽祭開催事業	鹿野町民音楽祭実行委員会を組織して、市民ミュージカルを実施し、市民の方の文化発表の場の形成と世代間交流を促進する。	引き続き主催者である鹿野町民音楽祭実行委員会に事業費を助成し、市民参画による企画・制作・運営が行われることで、人材を育成し、地域の文化振興とともに地域活性化を図る。(第32回鹿野ふるさとミュージカルの開催)	上演時期：平成30年6月10日 上演演目：第32回ふるさとミュージカル「鹿野にはかつばやまどり蜘蛛の糸！」 上演場所：鳥取市民会館 事業主体：鹿野町民音楽祭実行委員会 入場者数：536人	A	地域住民、ボランティアなど124名の市民による企画・制作・運営が行われ、参加者相互の交流が図られた。また、入場者数は昨年を上回り、本事業の目的を達成することができたと考えられるため。	継続した事業費の助成を行い、市民の文化発表の機会を支援及び文化活動を通して世代間文化交流を促進し、地域の活性化を図る。	令和元年8月11日(日)午後2時～鳥取市民会館にて第33回ふるさとミュージカル「踊り見の城～もう一つの因幡攻防戦～」を上演予定
文化交流課	市民文化祭開催事業	鳥取市民文化祭は、鳥取市文化団体協議会加盟団体が日頃の活動の成果を市内文化施設等で発表するとともに、芸術文化に触れる機会を提供することで市全体の文化振興を図る。	引き続き主催者である、鳥取市文化団体協議会に事業費を助成し、年間を通して市民の発表の機会を支援する。鳥取市文化団体協議会傘下の団体が作品発表のための展示会、演奏会等の文化行事を市内各所で展開する。	第57回鳥取市民文化祭 ●開催日数：99日 ●開催行事数：46行事 ●入場者数：22,939人	B	展示、演奏等の文化行事が計画的に行われ、支援を実施。	市民の文化芸術活動の発表、鑑賞機会として引き続き支援を行う。	引き続き主催者である、鳥取市文化団体協議会に事業費を助成し、年間を通して市民の発表の機会を支援する。鳥取市文化団体協議会傘下の団体が作品発表のための展示会、演奏会等の文化行事を市内各所で展開する。
文化交流課	市民音楽祭開催事業	参加団体の代表者により実行委員会を組織し、企画から運営まで全て市民が行う、手づくりの音楽祭であり、その経費の一部を助成することにより市民の自主的な活動を支援する。	引き続き主催者である、鳥取市民音楽祭実行委員会に事業費を助成し、音楽団体の発表の場を確保し、多くの市民が参加し音楽を楽しむことで、音楽文化の向上を図る。	第43回鳥取市民音楽祭 ●支援先：鳥取市民音楽祭実行委員会 ●実施期日：平成30年6月3日 ●開催場所：鳥取市民会館 ●入場者数：1,300人 ※出演者26団体600人(入場者数に含まない)	B	市民による手づくりの音楽祭として実施され、自主的な活動を支援。	市民の文化芸術活動の発表、鑑賞機会として引き続き支援を行う。	引き続き主催者である、鳥取市民音楽祭実行委員会に事業費を助成し、音楽団体の発表の場を確保し、多くの市民が参加し音楽を楽しむことで、音楽文化の向上を図る。
文化交流課	市民美術展	幅広い市民の創作意欲の啓発とともに芸術的に優れた作品の展示、市内外に鑑賞の機会を提供する。	引き続き、鳥取市民美術展運営委員会に委託し、市民美術展を開催。市民の創作意欲の向上と発表・鑑賞機会を創出し、文化芸術の振興を図る。	第57回鳥取市民美術展 ●委託先：鳥取市民美術展運営委員会 ●期間：平成30年5月13日～20日(8日間) ●部門：日本画、洋画、書道、工芸、デザイン、版画、写真、彫刻、企画展の9部門(応募数：290点) ●会場：鳥取県立博物館 ●入場者数：2,476人	C	開催場所を従来の県立博物館から市教育センター体育館に会場を変更したため、出品数や来場者数の減少等につながった。	市民にとって親しみやすく、また芸術文化活動の裾野を広げる事業として内容を検討するとともに、毎年一定の時期、場所で開催できるよう、関係各所と調整を行い、その実現に努めることとする。	引き続き、鳥取市民美術展運営委員会に委託し、市民美術展を開催。市民の創作意欲の向上と発表・鑑賞機会を創出し、文化芸術の振興を図る。
文化交流課	文化芸術推進事業費補助金等	市内で活動する芸術文化団体が芸術文化活動に要する経費の一部を補助することにより、市民文化の振興を図るとともに、活力ある地域社会の形成に資する。	鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の一部を補助する。 童謡・唱歌100曲マラソン、シルエット劇場、吉備真備杯囲碁大会、鳥の演劇祭、日本のふるさと音楽祭、菊花展、放哉の会ほか	事業名・金額(開催期間/場所/入場者数) ●用瀬町月を愛でる会120千円(9/23流しびなの館ほか/参加者250人) ●用瀬美術展45千円(10/19～21用瀬町民会館/参加者200人) ●貝殻館全国大会200千円(9/2/市文化ホール/250人) ●放哉の会500千円(10/24～28/とりぎん文化会館ほか/2,250人) ●吉備真備杯囲碁大会50千円(6/17賀露神社/147人) ●アートスタート活動支援(3件)400千円(9/2,10/13,3/19/市内/273人) ●鳥の演劇祭1,000千円(9/6～23/鳥の劇場ほか/4,850人) ●大菊花展280千円(11/2～8/樽鈴公園/1,800人) ●シルエット劇場1,180千円(2/28～3/1/市民会館/1,777人) ●とっとり手踊り・手笠踊りの集い182千円(10/14/安蔵公園スキー場/300人) ●童謡唱歌100曲マラソン900千円(6/15/とりぎん文化会館/1,500人) ●岡野貞一生涯140周年記念事業(4/14/市民会館ほか/3,751人) ●鳥取JAZZ2018(11/2～4/ギャラリーそらほか/3,000人) ●麒麟展(7/22～8/26/鳥取県立博物館/3,680人)	B	文化芸術団体が行う文化芸術に関する自主的な活動を促進し、計画に基づき支援。	市民が自主的に行う文化芸術活動を支援し、地域に根ざした文化芸術の振興を図るため、今後も同水準の支援を継続。	鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の一部を補助する。 童謡・唱歌100曲マラソン、シルエット劇場、吉備真備杯囲碁大会、鳥の演劇祭、日本のふるさと音楽祭、菊花展、放哉の会ほか

(4) 文化芸術活動による交流の促進

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
経済・雇用戦略課	あおや和紙工房管理事業	伝統産業の因州和紙のPRと定期的な展示会やイベントを通して、和紙の魅力を発信する。	入館者数 23,000人	入館者数 23,428人	A	計画をおおむね達成した。(達成率101.8%)	引き続き、あおや和紙工房の指定管理者である公財)鳥取市文化財団へ企画展等の企画運営業務を委託し集客に努めるとともに因州和紙の魅力を発信する。	入館者数 24,000人
文化交流課	国民文化祭参加事業	文化団体の参加を促進し、芸術文化を通じた交流を深めるとともに、文化活動の発表の機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。	引き続き、文化団体の参加を促進し、芸術文化を通じた交流を深めるとともに、文化活動の発表の機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。	国民文化祭おおいた2018参加(4件)863千円 ●10/20～22合唱の祭典/鳥取女声合唱団21人、岡野貞一記念合唱団26人 ●10/27～28小倉百人一首競技かるた団体戦/鳥取県かるた協会7人 ●10/13～14太鼓の祭典/逢鷲太鼓連15人	B	発表機会の提供と交流の促進を図るなど、取り組みを支援。	引き続き、文化団体の参加を促進し、芸術文化を通じた交流を深めるとともに、文化活動の発表の機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。	引き続き、文化団体の参加を促進し、芸術文化を通じた交流を深めるとともに、文化活動の発表の機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。
文化交流課	芸術の出前講座	地域で活躍している文化活動者が学校に向き、子どもたちに文化の楽しさを伝授する。	引き続き、地域で活躍している文化活動者が学校に向き、子どもたちに文化の楽しさを伝授する。	●実施校：遷喬小、神戸小、湖山小、宝木小 ●実施期間：平成30年6月～12月 ●延べ参加者数：585人(延べ実施回数61回)	B	鳥取市文化団体協議会と連携し、計画的に取り組みを実施。	次世代の芸術的素養を育む非常に教育効果の高い事業であるが、事業の積極的な活用を促すために、学校教育の現状やニーズ等を把握しながら、事業内容等の検討を行っていく必要がある。	引き続き、地域で活躍している文化活動者が学校に向き、子どもたちに文化の楽しさを伝授する。
気高町地域振興課 ★H30～追加	芸術によるまちづくり推進事業 ★H30～追加	映画により「芸術のまちづくり」を通して、地域の魅力や交流など活性化を図ることを目的に支援する。	映画制作のワークショップ開催。ショートムービーの制作。浜村温泉映画祭の開催。	映画制作のワークショップ開催。ショートムービーの制作。浜村温泉映画祭の開催。	A	計画どおり事業を完了した。	地域住民が、スタッフ協力・出演などの作品制作に、継続的に協力する機運を高めるとともに、県外アーティストとの交流を図る。県とも連携し、気高町が滞在型の映画・映像制作の制作地モデルになるよう支援する。	映画制作のワークショップ開催。ショートムービーの制作。浜村温泉映画祭の開催。

(5) その他(上記項目に該当しない事業)

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
文化交流課	青少年文化活動支援事業	青少年が豊かな人間性と多様な個性を育むために、一流の芸術鑑賞の機会を提供する。	引き続き、青少年が豊かな人間性と多様な個性を育むために、一流の芸術鑑賞の機会を提供する。	●芸術鑑賞教室875千円(10/16若葉台小、明治小) ●青少年劇場巡回公演1,240千円(6/6岩倉小、6/7佐治小、10/23湖山西小、11/21瑞穂小) ●青少年劇場小公演216千円(10/30/国府東小、散岐小)	B	芸術鑑賞機会の提供に向け、計画的な取り組みを実施。	引き続き、青少年が豊かな人間性と多様な個性を育むために、一流の芸術鑑賞の機会を提供する。	引き続き、青少年が豊かな人間性と多様な個性を育むために、一流の芸術鑑賞の機会を提供する。

7 生涯学習活動拠点の充実

(1) 公民館の施設整備及び機能強化

資料2

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	コミュニティセンター施設整備	地域のコミュニティセンターを整備することにより、利用者の安全と快適な学習環境を確保し、地域の特性を生かした生涯学習の推進を図る。		国府町コミュニティセンター冷却塔修繕・旧日置小学校3階アルミドア修繕・勝谷コミュニティ浄化槽修繕・気高町コミュニティセンター多目的トイレ漏水修繕・河原町コミュニティセンター講堂系統冷却水配管漏水修繕・福部町コミュニティセンター女子トイレ 入口扉修繕・用瀬町民会館 エレベーター修繕・福部町コミュニティセンター女子トイレ洗面器漏水修理・気高町コミュニティセンター階段照明取替・河原町コミュニティセンター通信設備修繕・鹿野地区コミュニティ施設軒天修繕・気高町コミュニティセンター事務室 照明修繕・用瀬町民会館2F中会議室照明修繕・河原町コミュニティセンター照明修繕・旧小鷲河小学校壁補修・河原町コミュニティセンター2階ベランダ手摺修繕・福部町コミュニティセンターシャフト内水漏れ修理・気高町コミュニティセンター点検口蓋修繕・福部町コミュニティセンター揚水管漏水修理・気高町コミセン事務室入口ドア修繕・河原町コミュニティセンター光学式煙感知器修繕・福部町コミュニティセンター2階男子トイレ修繕・佐治町コミュニティセンター給湯器修繕・河原町コミュニティセンター各バトンロープ交換・河原町コミュニティセンターピアノキャスター修繕・佐治町コミュニティセンター図書室照明修繕・気高町コミュニティセンター事務室ブラインド修繕・国府町コミュニティセンター吸収型温水器M型パラジウムセル修繕・福部町コミュニティセンター多目的トイレフラッシュバルブ修理	A	計画事業に加え、事業目的の達成に資する施設整備に努めた。	各地域の実情に応じた施設経営が可能となるよう、公共施設再配置基本計画等に従い、施設の再配置、複合化等も踏まえ検討を行うとともに、引き続き整備に努める。	未定
協働推進課	地区公民館新築事業	地区公民館を新築することにより、現状の課題を解消し生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として充実を図ることで、利用者が安全かつ快適に使用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>津ノ井地区公民館新築工事</li> <li>津ノ井地区公民館既存解体、駐車場整備設計</li> <li>城北地区公民館新築設計業務</li> <li>成器地区公民館新築設計業務</li> </ul>	全て計画どおり完了した。	A	概ね計画どおり事業完了できたため	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>城北地区公民館新築工事</li> <li>成器地区公民館新築工事</li> <li>津ノ井地区公民館既存解体、駐車場整備工事</li> <li>旧日置谷地区公民館解体設計業務</li> <li>旧小鷲河地区公民館解体設計業務</li> </ul>
協働推進課	地区公民館耐震補強事業	地区公民館の耐震補強工事を行うことにより、地震時における利用者の安全を確保する。	なし	なし	-	なし	なし	なし
協働推進課	地区公民館改修事業	地区公民館施設の改善を図ることで、地域住民が気軽に集い、生涯学習事業やコミュニティ活動が円滑に実施できる環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>八上地区公民館2階トイレ設置設計、工事</li> <li>谷地区公民館移転改修設計、工事</li> <li>あおば地区公民館屋根及び外壁改修設計業務</li> <li>美徳地区公民館外壁他改修設計業務</li> </ul>	谷地区公民館移転改修工事が繰越となったが、その他は、すべて計画どおり完了した。	B	概ね計画どおり事業完了できたため	<ul style="list-style-type: none"> <li>あおば地区公民館屋根及び外壁改修工事は、外壁にアスベストを含むため、改修時期や方法を検討の上、令和2年度に実施するよう努める。</li> <li>美徳地区公民館外壁他改修工事は、改修規模が大きいため、令和2年度に実施するよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>谷地区公民館移転改修工事（繰越）</li> </ul>

(2) 学校教育施設の開放

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
生涯学習・スポーツ課	学校体育施設開放事業	学校教育施設を、地域の生涯学習の拠点施設のひとつとして捉え、地域で行われるスポーツ活動などの機会拡充を図る。	市民の生涯スポーツの場として、学校体育施設（小学校・義務教育学校全校、中学校2校）を開放	市民の生涯スポーツの場として、学校体育施設（小学校全校、中学校2校）を開放	A	学校の休業日を中心に、児童等のスポーツ活動に貢献したため。	継続実施	市民の生涯スポーツの場として、学校体育施設（小学校・義務教育学校全校、中学校2校）を開放

(3) 図書館の整備及び管理運営

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
市立中央図書館	図書館情報管理システム処理事業	中央図書館、用瀬図書館、気高図書館の市立図書館3館と国府・福部・河原・佐治・鹿野・青谷の各図書室6室、市立病院図書室の蔵書データ及び利用データを一元化し、電算システムによる一体的な情報管理を図る。	引き続き、自動貸出機や自動返却機の利用、図書予約や貸出期間の延長などセルフ利用の更なる促進を図ることで、貸出業務での人的な省力化を図る一方、資料相談や資料案内等の利用者サービスの一層の充実を図る。 指標：セルフ利用率 49%	中央図書館、用瀬図書館、気高図書館の市立図書館3館と国府・福部・河原・佐治・鹿野・青谷の各図書室6室、市立病院図書室の蔵書データ及び利用データを一元化し、電算システムによる一体的な情報管理を図った。 指標：中央図書館でのセルフ利用率 46.3% 達成率94.5%	A	平成31年3月に図書館情報管理システムを更新した。（運用開始：平成31年3月31日）より一層の利便性向上、効率化を図るとともに、安定的にサービスを提供できるよう整備した。セルフ利用率は前年度より1ポイント向上し、達成率94.5%であった。	平成31年3月に自動貸出機の配置を見直し、カウンター近くに配置することで、利用者が職員に使用方法を尋ねやすく、また、職員も利用案内しやすいようになった。今後も様々な工夫によりセルフ利用の促進に努め、資料相談や資料案内等のサービスの充実に繋げる。	引き続き、自動貸出機や自動返却機の利用、図書予約や貸出期間の延長などセルフ利用の更なる促進を図ることで、貸出業務での人的な省力化を図る一方、資料相談や資料案内等の利用者サービスの一層の充実を図る。 指標：セルフ利用率 51%

(4) 生涯学習拠点の適切な管理運営

担当課	事業名	事業目的	平成30年度事業計画	平成30年度事業実績	達成度	達成度の判定理由	今後の見直し方針	平成31年度事業計画
男女共同参画課	鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」	学習や交流、情報交換など男女共同参画社会の実現をめざした活動拠点。	各種講座の開催 男女共同参画に関する図書・情報の収集、提供 男女共同参画団体の活動支援	講座：17講座17回、608人参加 図書貸出：397人（736冊） センター利用者数：《研修室等》14,421人、《ワークルーム》1,068人	AA	センター利用者は増加したものの概ね横ばい、セミナー参加者は、会場の定員の関係で減少したが、当初想定していた定員を上回っている。図書貸出については、人数・冊数とも前年より倍増している。	センター利用についての広報、講座の充実を図ること で、男性を含めた多くの市民に利用してもらえるよう、多面的に検討を行っていく必要がある。	各種講座の開催 男女共同参画に関する図書・情報の収集、提供 男女共同参画団体の活動支援
文化財課	鳥取市歴史博物館	鳥取の歴史や文化の学習拠点となる とともに広く県内外の情報発信をしていくことを目的として設置した施設	常設展示、特別展・企画展・ロビー展の開催 体験イベント等の開催 講座等の開設	常設展示、特別展「明治維新150年記念 鳥取の明治維新」、企画展「鳥取のスポーツ/スポーツを科学する」ほか、共催展「とっとりのお宝おひろめ～鳥取県指定文化財新規指定記念展」ほか、講座「おうちでアカデミー」、「おうちでワークショップ」ほか、体験イベント「歴史ツアー」ほか、 平成30年度入館者数 40,342人	B	各種展示開催事業、教育普及啓発事業等について、概ね計画どおりの事業運営を行ったため。	引き続き、各種展示開催事業、教育普及啓発事業等の内容の充実を図る。	常設展示、特別展・企画展・ロビー展の開催 体験イベント等の開催 講座等の開設
文化財課	仁風閣及び宝扇庵	国重要文化財「仁風閣」の保存と、文化財に触れる機会を提供し、文化財保護精神の高揚に努める。	常設展示、企画展等の開催 コンサート、鳥取城講座、フォトコンテスト等の開催	常設展示、企画展「甕の鳥取城」ほか、「鳥取城講座～初級編」「仁風閣誕生フェア」「秋の仁風閣フェア」「仁風閣サロンコンサート」「人力車定期運行」「仁風閣お茶席」「仁風閣ライトアップ」ほか、 平成30年度入館者数 37,975人	B	各種展示開催事業、教育普及啓発事業等について、概ね計画どおりの事業運営を行ったため。	引き続き、各種展示開催事業、教育普及啓発事業等の内容の充実を図る。	常設展示、企画展等の開催 コンサート、鳥取城講座、フォトコンテスト等の開催
文化財課	鳥取市因幡万葉歴史館	「万葉文化」をコンセプトに、地域文化と観光振興を図ることを目的として設置した施設。	常設展示、特別展・企画展・ロビー展の開催 体験イベント等の開催 講座等の開設	常設展示、展覧会「花に想う～万葉の世界～」、「里中満智子作品展～時をこえる愛の言葉～」、巡回展「第11回池田家墓所写真コンクール作品展」ほか、市民ギャラリー、イベント「第20回因幡の傘踊りの祭典」ほか、体験講座「万葉集講座」、大伴家持生誕130年記念イベントほか 平成30年度入館者数 30,084人	B	各種展示開催事業、教育普及啓発事業等について、概ね計画どおりの事業運営を行ったため。	引き続き、各種展示開催事業、教育普及啓発事業等の内容の充実を図る。	常設展示、特別展・企画展・ロビー展の開催 体験イベント等の開催 講座等の開設
文化財課	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	国史跡青谷上寺地遺跡を紹介すると共に体験学習・情報発信の拠点となることを目的に設置した施設。	常設展示、ロビー展の開催 体験イベント・講演会等の開催	常設展示、ロビー展「速報！青谷上寺地遺跡出土人骨のDNA分析」「2017青谷上寺地遺跡発掘調査速報展」ほか、「体験イベント 春夏秋冬」ほか、体験学習「ミニ土器づくり」ほか 平成30年度入館者数 8,678人	B	各種展示開催事業、教育普及啓発事業等について、概ね計画どおりの事業運営を行ったため。	引き続き、各種展示開催事業、教育普及啓発事業等の内容の充実を図る。	常設展示、ロビー展の開催 体験イベント・講演会等の開催
文化財課	鳥取市あおや郷土館	青谷町を中心とした郷土の歴史や文化を学び、市内外の文化活動の成果に接し観賞できる場として設置した施設。	常設展示、企画展・ロビー展の開催 体験イベント等の開催	7常設展示、企画展「元谷督太郎～生誕100年記念写真展」ほか、共催展「第10回青谷高校授業作品展」ほか、体験イベント「戌年、川六の狛犬めぐりパスタ」ほか 平成30年度入館者数 9,809人	B	各種展示開催事業、教育普及啓発事業等について、概ね計画どおりの事業運営を行ったため。	引き続き、各種展示開催事業、教育普及啓発事業等の内容の充実を図る。	常設展示、企画展・ロビー展の開催 体験イベント等の開催
さじアストロパーク	星の観察会	天文の専門職員の解説による103cm大型望遠鏡を活用した天体観察会をおこない、宇宙を感じて楽しみ興味を持ってもらう。	①天体観察会（103cm大型望遠鏡を使った星の観察会、雨天曇天時は天体説明会を実施） ②星空解説（佐治天文台前広場での星空や星座の解説）	実施回数 886回 延参加者数 11,470人	A	夏期の需要期に火星の大接近があり実施回数では昨年度を下回ったが参加者は1.2倍弱とかなり上回った。実際に本物の宇宙の姿に触れる貴重な体験を提供しており適切と判断した。	旬の天体のリストアップや周知改善に努める。	①天体観察会（103cm大型望遠鏡を使った星の観察会、雨天曇天時は天体説明会を実施） ②星空解説（佐治天文台前広場での星空や星座の解説）
さじアストロパーク	プラネタリウム	天文の専門職員が直接宇宙を語ることにより、宇宙の不思議や神秘を感じてもらい、自然科学に興味を持ってもらう。	①専門職員による星・星座・最新の宇宙科学情報の話と解説 ②作品（テーマ番組）の上映	実施回数 645回 延参加者数 7,123人	A	専門職員の星空解説には定評があり、適切と判断した。	さらなる利用増のため、学校や保育園等にも周知をおこなう。	①専門職員による星・星座・最新の宇宙科学情報の話と解説 ②作品（テーマ番組）の上映
さじアストロパーク	館内展示	103cm大型望遠鏡がとらえた宇宙の姿を中心とした展示をおこない、宇宙に興味を持ってもらう。	①常設及び期間展示 ②体験展示 ③クイズラリー	展示の延観覧者数 22,419人 クイズラリーの延参加者数 1,836人	AA	職員の工夫を凝らした期間展示をおこなうなど適切と判断した。	市民の興味関心のある展示になるように努める。	①常設及び期間展示 ②体験展示 ③クイズラリー
さじアストロパーク	宇宙ふしぎ探検	特別な天文現象等をテーマとした観察会を実施し、宇宙の不思議を感じてもらい星に興味を持ってもらう。	月の観察会、惑星の観察会 流れ星の観察会、星座の観察会ほか	専門職員の解説付きのテーマを決めた観察会を実施 実施回数 20回 延参加人数 1,190人	AA	参加数は昨年の2倍弱と大幅に上回った。宇宙の不思議を体験する機会を提供することができたと判断した。	注目を集める天体を主とした内容になるように努める。	月の観察会、惑星の観察会 流れ星の観察会、星座の観察会ほか
さじアストロパーク	星景写真コンテスト	特色ある写真コンテストの実施により、星や宇宙への興味関心を持ってもらう。	星と風景がいっしょに写った写真コンテスト 星の写真撮影講座の開催	応募者数 45人 応募点数 93作品	A	全国から応募作品が寄せられた。	周知方法の見直しをおこなう。	星と風景がいっしょに写った写真コンテスト 星の写真撮影講座の開催
生涯学習・スポーツ課	サイクリングターミナル砂丘の家	青少年や家族連れが安全・快適、経済的にサイクリングを楽しむことにより、青少年の健全育成、体力増進を図る。	鳥取市内の小学生を対象とした宿泊体験事業の実施	事業名：「海風とともに暑い夏を走り抜け!!砂丘の家☆シーサイドサイクリング合宿」 実施日：平成30年7月25日(水)～7月26日(木)1泊2日 参加者：市内小学生10名(5年生以上)	A	日常生活で得られない体験活動を通じて体力増進を図り、全員で共同生活を行うことで協調性を養うことができたため、青少年の健全育成に寄与することができたとと思われる。	年1回の自主事業では広く体験活動による青少年の健全育成に寄与できないと判断し、平成31年度は実施しない。	実施予定なし

